



Be ambitious

「黄金のポプラ並木（北大第一農場）」
写真提供 吉成 久和（昭53 文東史）

年会費の納入のお願い

同窓会事業運営の為、年会費の納入を宜しくお願い致します。年会費は同封の払込取扱票にて原則お願いしています。なお令和7年度納入済の方には払込取扱票は同封していません。

令和7年度（2024/9～2025/8） 年会費 3000 円記載の払込取扱票

令和6年度（2023/9～2024/8） 未納の方は、2年分の年会費 6000 円記載の払込取扱票振込の場合はゆうちょ銀からとそれ以外の金融機関からでは口座番号が違います。

また氏名と会員番号（払込取扱票の左下の学部・番号）の記載を必ずお願いします。

郵便振替口座 口座名：北海道大学関西同窓会

ゆうちょ銀からの振込の口座番号 00920-1-89690

他金融機関からの振込の口座番号 店名〇九九（ゼロキウキウ） 店番 099 当座 0089690

※広告掲載者の方には、広告料払込取扱票を別途郵送しています。宜しく御願います。納入についてお問い合わせのある方は elmkansai@yahoo.co.jp 会計入江宛ご連絡下さい。

会報は関西同窓会ホームページに公開しています

こちらの URL か QR コードからご覧いただけます。

<https://hokudai-kansai.org/category/be-ambitious>



住所変更の連絡とメールアドレスの提供のお願い

送付した会報が宛先不明として返送されたり、メールアドレス不明のためメールを届けられない場合が多数発生しております。住所変更やメールアドレスの新規登録あるいは変更がありましたら、速やかに当同窓会ホームページの一番下にある「お問い合わせ」欄から同窓会宛に連絡をお願い申し上げます。その際、封筒に記載の学部と番号（例：理 087）も「連絡事項」欄に入力願います。ホームページからの入力難しい場合は、同窓会館宛に郵便・Fax でお願い致します。

お問い合わせ URL: <http://hokudai-kansai.org/contact/>



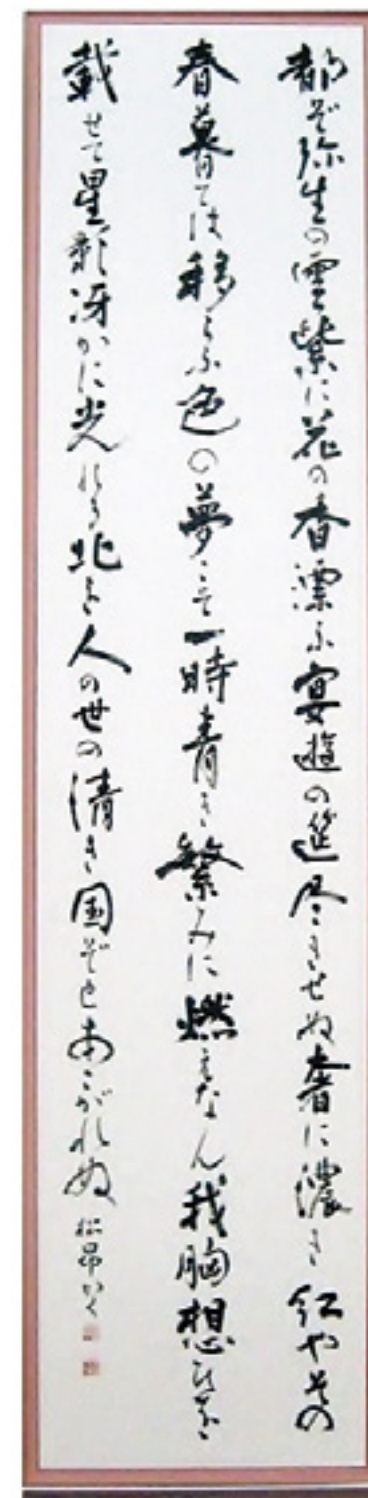
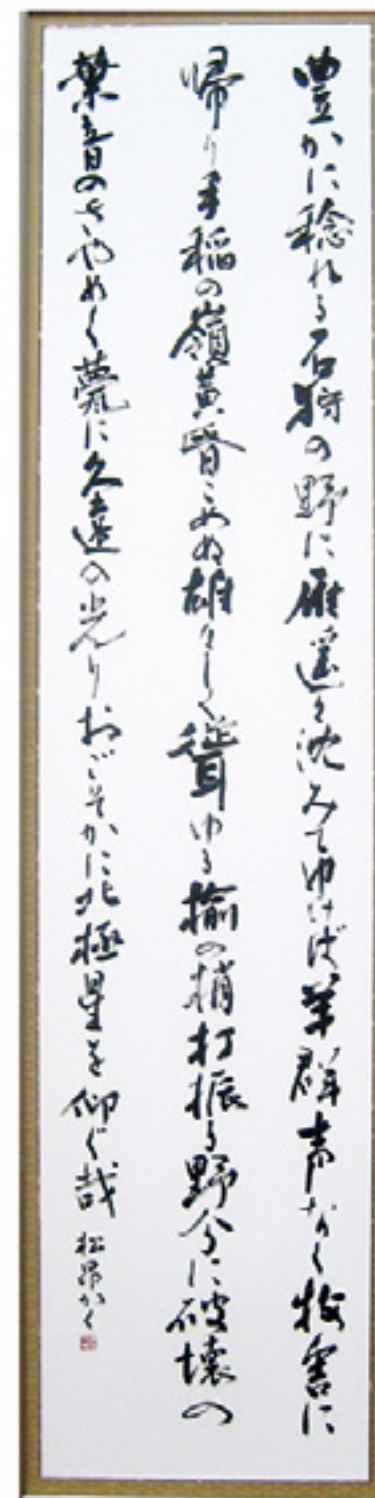
広告出稿のお願い

更なる円滑で充実した活動の為に下記要領で広告をお願いしています。

広告のスペースと料金

1/16頁（名刺様式）	3,000円	1/2頁	15,000円
1/8頁	7,000円	1頁	30,000円
1/4頁	10,000円	連名広告	2,000円／一人

お支払いは、原則として別途郵送した広告料払込取扱票にて御願っていますが、振込の場合は、同ページ上の「年会費の納入のお願い」に記載の郵便振替口座にお願いします。



「都ぞ弥生」 田島 朋子（S54 獣医）

温故知新

北大創基 150 周年に向けて “私が思う未来の北大”大募集！

500 字で語る私の唯一無二の
北大像について原稿を
92 号（～93 号）で皆さんの投稿を
掲載させて下さい！
会報編集委員会

お問い合わせ先：elmkansai@yahoo.co.jp



旧昆虫学・養蚕学研究室：現北大ワイン教育研究センター
写真提供 吉成 久和（文東史）

2024 年通常総会、特別講演会及び懇親会のご案内

北海道大学関西同窓会 会長 植松高志
一社）札幌農学同窓会関西支部 理事長 山田勝重

北海道大学関西同窓会の通常総会・特別講演会と、札幌農学同窓会
関西支部秋季講演会、並びに懇親会を以下の要領で開催いたします。
皆様奮ってご参加の程、お願い申し上げます。

日時： 2024 年 10 月 19 日（土曜日）13：00－19：30

会場： ホテル日航大阪 4 階 孔雀の間

次第：

◇13：00 受付開始

◇13：30 ～ 14：15 北海道大学関西同窓会 通常総会

◇14：30 ～ 15：30 講演 1. 札幌農学同窓会関西支部 秋季講演会
理事長挨拶・講師紹介 山田勝重（S53 農化）
「ワインの魅力：地域の持続性を高める鍵として」
講師：北海道大学農学部 ワイン教育研究センター 教授
曾根 輝雄（そね てるお）先生（H09 農博）

◇15：45 ～ 17：00 講演 2. 北大関西同窓会 特別講演会
講師紹介 植松高志（S48 法）
「人工知能の未来 ChatGPT の先に待っている世界」
講師：北海道大学大学院 情報科学研究院 教授
川村 秀憲（かわむら ひでのり）先生（H12 工博）

◇17：15 ～ 19：30 懇親会

受付

北海道大学関西同窓会会員も札幌農学同窓会会員も、受け付けは 13 時から
始まります。

参加費

講演会への参加は無料です。

懇親会の参加料は、参加者一人について 8,000 円です。

北海道大学関西同窓会会員の方で、当日までに年会費未納の方は、年会費を
徴収させていただきます。

お知らせ

懇親会では、飲み放題となっています。

以下の酒類が飲み放題で提供されますので、特段お持ち込みいただかなくてもご満足頂けるかと思います。

瓶ビール、ウィスキー、ワイン（赤・白）、日本酒、焼酎（芋、麦）、ノンアルコールビール、カクテル2種（カシスオレンジ、レモンサワーテイスト）、ジュース（オレンジ、アップル）、コーラ、烏龍茶。

出欠の連絡

出席する方は、定期総会、講演1、講演2、懇親会の4つに分けて出欠の連絡をお願いします。いずれも欠席される方は、連絡不要です。

出席の連絡は、当案内の最後にある送信状に必要事項を記入/入力のうち、Faxあるいはメールにて北大会館宛にお願い致します。

締め切り：2024年10月14日です。

連絡先は「2024年10月19日通常総会・講演会・懇親会事務局」宛です
Tel/Fax 06-6343-3736 mail: elmkansai@yahoo.co.jp

会場でのコロナ対策はありません。

申し込み用紙

締め切り：2024年10月14日です。

Tel/Fax: 06-6343-3736 mail: elmkansai@yahoo.co.jp

2024年10月19日通常総会・講演会・懇親会事務局 宛

1. 氏名
卒年
学部学科

2. 住所:
Tel/Fax No.:
e-Mail:

3. 出欠

(出席は○、欠席は✕)

北大関西同窓会 通常総会 ()
講演1 「ワインの魅力:地域の持続性を高める鍵として」 ()
講演2 「人工知能の未来 ChatGPTの先に待っている世界」 ()
懇親会 ()

4. 講演後質疑の時間を用意しています。あらかじめ講演者にお尋ねしたい事があれば、以下に記入してください。

目次

巻頭言	21周年 北大会館祭	川邊 一郎	6
行事			
1. 特別講演：北海道大学の近況と将来への取り組み	西邑 隆徳	8	
2. 特別講演：「国際インターンシップを中心にご報告」の紹介	波多 勇	11	
3. 第18回市民公開フォーラム「考えよう!子どもの健康と食生活」	山田 勝重	14	
4. 特別講演：食農教育は おいしい、おもしろい、感動する	久田 徳二	16	
5. 第18回市民公開フォーラム パネルディスカッション報告	小野 雅之	19	
6. 特別寄稿：文武両道 北大出身のスポーツ選手たち	福田 講平	21	
7. 福田講平さんについて	植松 高志	24	
会員活動			
1. 2024年札幌農学同窓会親睦園遊会に参加して	松下 秀之	26	
2. 北水同窓会のイベントへのお誘い	中田 邦彦	28	
3. 【2024年第2回 北大 関西同窓会 若手交流会 開催報告】 ～関西在住の北大同窓生と“珠玉のジンギスカン”楽しみませんか!～	近藤 武憲	30	
4. わたしとわたしたちのサードプレイス---北大会館社員になって	高畠 哲彦	32	
5. 関西同窓会入会にあたり「よろしくお願いします」	水谷 潤	33	
広告			35
会員活動			
6. 遅れて来た北海道での青春	山脇 啓輔	41	
7. 刀鍛冶志望から民法研究者へ	池田 雄二	42	
8. 訳者兼役者で舞台をやりたい	有信 優子	43	
9. ペルシャの姫君～古代史の小径～	三津 正人	44	
10. 6億年前、地球に巨大大陸があったーゴンドワナランド の集合・分裂とアジア大陸の成長（後編）	吉田 勝	47	
同窓会活動			
1. 第28回歴史ウォーク～嵯峨嵐山（渡月橋、天龍寺）を巡る～	八田 方良	52	
2. 二水会・三金会の講演一覧（2024年3月～2024年8月）	藤田 久美	56	
3. 2024年4月三金会：企業教育のトレンドと課題 ～パナソニックの事例を織り交ぜながら～	近藤 武憲	57	
4. 2024年5月二水会：ちょっと変?私の健康法	高井 保秀	58	
5. 2024年6月三金会：大阪のクマゼミの謎	初宿 成彦	58	
6. 2024年7月二水会：南極の自然等、現地から行った授業 の内容の紹介	森田 好博	59	
お知らせ			
1. 本学関連のトピックス	本学広報課	60	
2. 北海道大学関西同窓会 2024年9月～2025年4月スケジュール	総務部	63	
3. 入退会者紹介	福井 毅	63	
編集後記	編集委員全員	64	

川邊 一郎 (1991 (H3) 水増殖)



25 年前の筆者

21 周年北大会館祭が 2024 年 5 月 25 日、大阪駅前第 2 ビルの生涯学習センターと北大会館で開催されました。

私が 5 周年事業について記事を書いてから 16 年が経過しました。

平成 3 年に水産学部を卒業し、8 年博士課程を退学。文学書の出版社を経て水産業界新聞の記者になり 27 年。テレビで大臣会見などが始まると、すぐにメモを取りたくなり、夢でもメモを取ります。そんな訳で今回の会館祭も A4 ノート 16 ページのメモが出来ました。とはいえスマホ時代、長文は嫌われます。

初めに司会の日下大器氏 (S37 農) が来賓として、北大の西邑隆徳副学長 (S58 農)、井上修平北大総長特命参与 (S50 工)、川端千鶴北大高等教育推進機構講師、笹原聡校友会事務局長を紹介。

(一社) 北大関西同窓会館の波多勇代表 (S43 農) は「6 年振りの (本格) 開催となった。2002 年に会館 (根城) ができ、2003 年には会館祭が開かれた。本日は楽しんでもらいたい」と挨拶。続いて北大関西同窓会の植松高志会長 (S48 法) は「関西同窓会は一昨年、60 周年を迎えた。過去の会報 86 号まで 3,300 ページを読んだ」と述べ、会の設立、その後の運営、会館取得について紹介しました。

講演会で西邑副学長は、「北海道大学の近況と将来への取り組み」をテーマに講演。「2 年前、エルムの森プロジェクトへ寄付のお願いをした。おかげで旧昆虫学及養蚕学教室などを保存改修しワイン教育研究センターとして再利用できるようになった」と説明。2026 年には創基 150 周年を迎えるが、皆さんの協力も得て改修を進めたい旨述べられました。

本題に入り、昨年、地域中核・特色ある研究大学強化促進事業で、これからの食料生産を環境に調和した形で行う、「フィールドサイエンスを基盤とした地球環境を再生する新たな持続的食料生産システムの構築と展開」が選定されたと説明。環境再生型食料生産システムに取り組む旨話しました。ここで休憩。

私は学生時は水産応援団で活動。水産では校旗と北水旗の両旗が並立します。良くも悪くも、本学と近いが交わらない気質が生きていました。平成 5 年附属北洋研・海洋生態修士卒業、平成 8 年博士退学。専門はキタオットセイ仔獣の発達でした。海獣つながりで、海遊館でラッコ担当だった妻と結婚。阿波座にあった同窓会部屋 (当時) の隣の建物が現在も務める水産経済新聞の事務所でした。以後、同窓会に。関西エルム新聞デビューは平成 12 年の 44 号です。

日下さんに誘われ第一回の「どさんぽ会」へ。今では鬼籍に入られた和歌山の中野昭信さん (S28 農)、姫路の松本直彦さん (S40 獣) の畑へ家族で訪ねたのも良い思い出です。平成 13 年、かみさんの実家向かいに自宅を建てました。4 つ裏の筋に故・遠藤元会長が在住で義父とは町内会の囲碁仲間でした。

休憩後、司会は引き続き日下氏。「北大同窓生ネットワークが支える国際インターンシップについて」井上参与、川端講師が報告しました。引き続き植松会長の案内で、2014 年に行われた北大応援団と小樽商大との対面式を特集したテレビを視聴しました。

我らが根城、会館に移動後は待ちに待った懇親会。大橋人司氏 (S56 水) の司会で始まり楽しく懇親。ストームの歌の替え歌などを歌い、おいしい肴、お酒を戴きました。中締めはいつものように円陣を組んで都ぞ弥生を歌い、岩井隆郎 (S56 工) 氏による北大エールで益々の発展、健康を祈念しました。



特別講演 2 題を聴講する参加者



懇親会フォトギャラリー



参加者全員による記念写真 (最前列中央でかがんで納まる筆者)

北海道大学副学長 西邑 隆徳



皆様、こんにちは。北海道大学副学長の西邑です。私は、この春（2024年3月）に33年間務めた農学部を退職したのですが、どうやら在職中の働きが足りなかったようで、もう少し北大のために働きなさいということになり、4月からは創成研究機構特任教授・副学長として「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」を担当させていただきます。

関西同窓会の北大会館祭りで私がお話しさせていただくのは今回で2回目です。前回は、2022年5月に農学研究院長として参加させていただき、北大キャンパスに現存する最古の建物である旧昆虫学及養蚕学教室・標本室を北海道大学ワイン教育研究センター棟にリノベーションする「エルムの森プロジェクト」についてお話しさせていただきました。お陰様で北大同窓生や縁のある企業様から多大なご寄付をいただき、文科省の施設整備費と合わせて改修工事を行うことができました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。1901年に竣工した旧昆虫学及養蚕学教室は120年以上経過しており耐震強度に問題があり、また、登録有形文化財として登録されており改修制限も多く、竣工当時の姿に復刻・改修するのはたいへんでした。工学研究院・建築デザイン学研究室の小澤丈夫教授や学生さんたち、施設部の皆さんのご協力で2023年7月に無事竣工することができました。同年9月には北海道知事や北海道経済界、ワイン関係の方々をお招きして開

所式を行うことができました。現在は、農学研究院・曾根教授が本センター長として、北海道におけるワインの教育研究活動を行っています。同窓生の皆様には、来学の際にぜひワインセンターをお訪ねいただければと思います。



旧昆虫学及養蚕学研究室を改修した北海道大学ワイン教育研究センター（上）、旧標本室を改修したワイン熟成庫（左下）、その内部（右下）

さて、本題に入ります。令和5年度に、本学が提案した「フィールドサイエンスを基盤とした地球環境を再生する新たな持続的食料生産システムの構築と展開」が日本学術振興会「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）」に採択されました。この事業は、地域の中核大学や特定の研究分野に強みを持つ大学が、その強みや特色ある研究力を核として戦略的経営の下、他大学との連携等を図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装を加速することにより大学の研究力強化を図るという事業です。J-PEAKS という略称は、Program for Forming Japan's Peak Universities を略したもので、独立峰のように一つの大学だけを高みに持ち上げるのではなく、連峰のように日本国内の研究大学群全体の研究力を

向上させることをゴールとしています。令和5年度に採択された大学は、北海道大学の他に千葉大学、東京農工大学、東京芸術大学、慶應義塾大学、金沢大学、信州大学、大阪公立大学、神戸大学、岡山大学、広島大学、沖縄科学技術大学院大学で合わせて12校です。

北海道大学は、2023年に制定した"HU VISION 2030"で掲げているように、世界レベルの卓越した研究を展開する Excellence と、特色ある強みを生かし世界の課題解決に貢献する Extension を兼ね備えた大学 "Novel Japan University Model" を確立し、世界共通の目標である持続可能な Well-being 社会の実現を目指しています。（図1）



図1 北大のビジョンとミッション

北海道大学は、札幌農学校以来、醸成されてきたアイデンティティを受け継ぎ、比類なき個性豊かな大学となっています。その特色としては、①世界最大級の研究林と豊かな海洋研究に代表されるフィールド研究、②世界最先端をリードする複数の卓越研究（化学反応創成研究拠点（ICReDD）、ワクチン研究開発拠点（IVReD）、半導体研究など）、③地域課題解決を目指す社会展開力、④SDGsに繋がるサステナビリティの考えを大学創成期から持っていたことなどがあげられます。北海道大学が有す

るこのような強みや特色をさらに発展させるために、本事業では、新たに連携研究プラットフォームを設立し、先端的融合研究の創成や産業創出に結びつく大型共同研究の形成を目指します。（図2）このプラットフォームでは、国内最大の規模を誇る研究林などのフィールドを活用しながら農学・水産学・環境科学・生態学などの分野が融合して「フィールドサイエンスを基盤とした地球環境を再生する新たな持続的食料生産システムの構築と展開」について、海外や北海道内の参画機関と連携しつつ、研究成果の社会実装を進めます。



図2 連携研究プラットフォーム

次に、本事業で取り組む「フィールドサイエンスを基盤とした地球環境を再生する新たな持続的食料生産システムの構築と展開」について、もう少し詳しく説明したいと思います。最近、温暖化や異常気象、気候変動などの言葉を報道等で聞かない日はありません。函館ではイカが不漁で、釧路ではサンマの水揚げが激減する一方、ブリが大漁になっています。気候変動の影響が私たちの食卓にまで及ぶようになっています。気候変動は人間活動による二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガス排出が原因とされていますが、農地拡大による森林減少、耕作や畜産による一酸化窒素やメタンの排出など、人類の食料生産に不可欠な農業も地球環境にネガティブなインパクトを与えてきました。20世紀半ばから始まった緑の革命（Green Revolution）は、高収

量品種の開発（育種技術革新）、化学肥料・農薬利用（栽培技術革新）および灌漑と農業機械の普及（基盤整備革新）によって、穀物生産量（単収）の飛躍的増大をもたらしました。これらの農業技術革新は、世界の食料危機を回避し、穀物価格の長期的低下による貧困層の救済などに寄与しましたが、一方で、化学肥料・農薬・化石エネルギーに依存する農業は、地球環境への負荷が大きく、高投入を支える資金が必要なため地域格差をもたらしました。

地球環境が後戻りできないほどの危機に直面する（プラネタリーバウンダリー）中、高投入・高収量・高排出の農業生産から、低投入でも高収量を確保し低排出な農業生産へのシフトチェンジが求められています。また、水産分野では、海洋環境変動による水産資源の変化、環境負荷の高い養殖生産、CO2排出量が多い環境負荷型の水産業などの不安定・低収益・高排出の水産業から、資源変動に対応できるレジリエンスな水産業、循環型の低環境負荷の養殖生産、環境低負荷でカーボンニュートラルな安定・高収益・低排出の水産業へのシフトが求められています。

リジェネラティブ農業による持続的食料生産システムの研究開発では、生物や生態環境が有する本来のメカニズムを最大限活用したネーチャーテクノロジーと、それを実装するためのスマート農業技術を開発するとともに、農畜産物のスマートバリューチェーンを築くことによって、地域に最適化したレジリエンスで持続可能な環境再生型農業/食料生産システムの構築を目指します。また、リジェネラティブ水産業による持続的食料生産システムでは、沿岸・藻場・水産資源が有するポテンシャルを保全しつつ最大限に活用し、これらを可視化・理解するためのICT・IoTを活用したスマート水産業技術、持続可能な水産物生産を実現する水産業システムサイエンス

によって、地域に最適化したレジリエントな環境再生型水産業/食料生産システムを構築することを目指します。（図3）

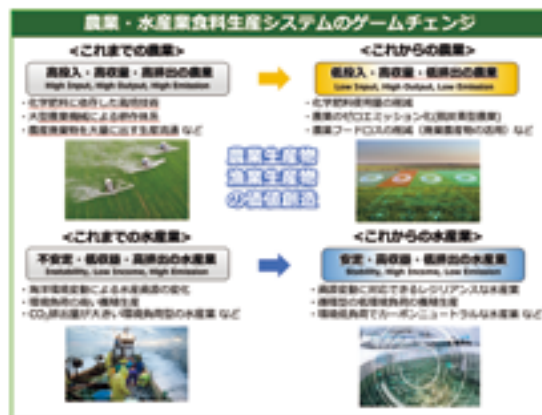


図3 リジェネラティブ農業・水産

創基150周年を迎えようとしている北海道大学は、地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）によって本学の研究力を一層強化しながら、北海道大学の特色であるフィールドサイエンスを基盤として地球環境を再生する新たな持続的食料生産システムを構築し、日本と世界の地域社会に展開することで、これからの150年間もサステイナブルなWell-being社会の実現に貢献していきます。



講演される筆者

特別講演「国際インターンシップを中心にご報告」の紹介

波多 勇（1968（S43）農化）



特別講演2は総長特命参与・客員教授 井上修平氏、講師 川端千鶴氏（北海道大学高等教育推進機構 国際教育研究部 国際産学協働教育ユニット）より北海道大学授

業科目「国際インターンシップ・プログラム」及び「グローバル・キャリア・デザイン」について詳細なご説明がありましたので紹介いたします。

国際化を目指す大学と世界展開している校友会エルムによる全面的な支援体制、そして国際経験が豊富な両先生による発足以来のご努力によって、他にない手づくりのプログラムになっており、受講した多くの学生が高い満足度を得ていると理解しました。



井上修平先生

川端千鶴先生

1. 北海道大学授業科目「国際インターンシップ・プログラム」

国際インターンシップ・プログラムは本学の教育と研究の基本理念「フロンティア精神」「国際性の涵養」「全人教育」「実学の重視」を教育現場で実際に活かすことを

目標に創設。発足は2016年度の新渡戸カレッジ留学プログラムで、2018年度に12学部・大学院を対象に全学展開しました。支援内容は「奨学金の提供（返済不要）」「学生受け入れ先の企業ご紹介」「海外校友会エルム組織の組成と現地支援」です。

国際インターンシップ・プログラムの研修内容は、「実地研修＝就業体験/OJT」「社会のニーズを掴む」「企業の海外展開の実際を知る」「新しい世界に挑戦する」。企業の方々が学生に対してオープンに何でも教えてあげようと接してくれていると受講学生から聴いています。研修期間は夏季休業期間中の2～6週間。人数は1名或いは若干名。業種は全学部生・院生に向け多岐に亘り幅広い事業。言語は日本語、英語、現地語。選考は書類審査・面接審査・マッチング。研修の構成は事前授業・海外研修・事後授業（成果報告会）より成っています。事前授業と事後授業に力を入れていて、研修前に国や企業について学ぶ機会を提供し、研修後に学びのまとめと振り返り、さらに参加者同士それぞれの学びを共有する機会があります。

学生派遣実績「研修先の国・地域」は、アジア各国が最も多く、米州（カナダ、米国）、欧州（フィンランド、ハンガリー）、大洋州（豪州、ニュージーランド）、アフリカ（ルワンダ）の24ヶ国・地域、48拠点。

学生派遣実績「科目受講生数の推移」は、初年度（2016年）夏季4名、2年目（2017年）夏季19名、3年目（2018年）夏季50名、4年目（2019年）夏季73名、5年目（2020年）春季30名（オンライン）、6年目（2021年）夏季・春季68名（オンライン）、7年目（2022年）夏季・春季64名、8年目（2023

年)夏季32名、延べ340名です。9年目(2024年)夏季は学生選考審査進行中です。コロナ禍でも何とか絶えることなく継続することができました。

国際インターンシップ・プログラムの特徴を列挙します。

- I 受け入れ先各企業と大学との厚い信頼
- II 一流企業での吟味された研修メニューを共同構築
- III 手作りの独自開発プログラム(質量両面の着実な充実)
- IV 十分な事前準備(事前授業4～5回・個人面談・学習会・学生間交流)
- V 連絡網を含む安心・安全な海外危機管理体制
- VI 受け入れ先から多数の極めて高い評価・評判
- VII 受講学生の高い満足度
- VIII 海外校友会エルムと本科目受講学生との懇談の機会ご提供
- IX 校友会エルムからのご支援(奨学金・懇親会)

特に、最後の2項目で校友会への新規加入学生増加に多大な効果が出ています。

「国際インターンシップ・プログラム」受講生たちは各研修先のお国で「本学同窓生の皆さまと懇談」の場をご提供いただいています。表1及び写真をご覧ください。

表1 同窓生(海外校友会)及び科目受講生総数

	2016	2017	2018	2019	2022	2023	合計
上海	10	10		14			34
Hanoi		19	18	8	13		58
Saigon			8	11	7		26
Bangkok			35	24	3		62
Singapore			15	18	16	38	87
Kuala Lumpur				11	7	9	27
Jakarta				12			12
6ヶ国7拠点	10	29	76	98	46	47	306



2. 北海道大学授業科目「グローバル・キャリア・デザイン」

Global Career Designは全学教育科目一般教育演習フレッシュマンセミナーです。対象は学部1・2年生向け短期留学体験授業プログラム(2単位)。科目通称はFSP(First Step Program) ①海外への②留学への③キャリア・プランニングへの第一歩。科目構成は事前授業(4回)・海外留学(2週間)・事後授業(2回)。研修国はアジア大洋州圏2ヶ国(2022・2023年度はシンガポール&マレーシア実施)。研修先は協定大学等の大学・国際機関・海外在日本企業・研究所。受講生数は25～30名程度。国際インターンシップ・プログラムより早く2011年にスタートしました。

趣旨は、I 海外協定大学での授業受講・学生交流(ディスカッション・プレゼンテーション) II グローバルに事業を展開する

企業・国際機関・研究所等でご活躍の方々からの講話と対話・プロジェクト視察

III チーム活動等を通してコミュニケーション能力・チームワーク力・キャリアプランニング能力を醸成 IV セカンド・ステップへ：国際インターンシップ・長期留学・研究留学

FSPに参加したことが国際インターンシップ・プログラムへ参加する動機になったというコメントを参加者からよく聴きます。

2023年度の海外研修プログラムの実施例を紹介します。

大学[シンガポール] SMU シンガポール

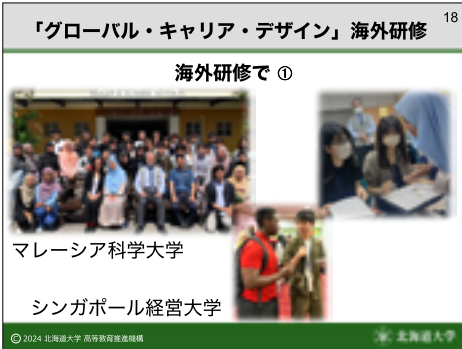
経営大学、CU カーティン(豪州)[マレーシア] MSU マネージメント&サイエンス大学、UMP マレーシアプトラ大学国際機関[マレーシア] 世界銀行

企業[シンガポール] 三井物産、日本航空[マレーシア] 三菱商事、イオン マレーシア研究所[シンガポール] シンガポール科学技術研究所(A*STAR)、分子・細胞生物学研究(IMCB)

「グローバル・キャリア・デザイン」受講生たちは各研修先のお国で「本学同窓生の皆さまと懇談」の場をご提供いただいています。表2及び写真をご覧ください。

表2 同窓生(海外校友会)及び科目受講生総数

	2011	2012	2015	2016	2017	2018	2019	2023	2024	合計
Saigon			24		18		31			73
Bangkok		35			34	35				104
Singapore	24	30		32				34	41	161
上海				23						23
4ヶ国	24	65	24	55	52	35	31	34	41	361



「国際インターンシップ」「グローバル・キャリア・デザイン」



今後とも 学生に対するご理解とご支援を
どうか よろしくお願い申し上げます。

第18回市民公開フォーラム「考えよう！子どもの健康と食生活」

札幌農学同窓会関西支部 理事長 山田 勝重（1978（S53）農化）



挨拶する筆者

第18回「市民公開フォーラム」を6月8日（土）11：30～16：30「フェニーチェ堺」小ホールで開催いたしましたので概要をご報告いたします。

今回の主テーマは「考えよう！子どもの健康と食生活」です。6月が食育月間ですので、親子の参加を促す新たな試みを意図して企画を進めました。

新しい企画の試みとして【一般の方の参加を増やせるか】【より多くの子ども達に聴いて貰えるか】そして【幅広く協賛者との協働化ができるか】を重視して準備を進めました。例えば告知のチラシ配布も従来の発送のみのお願ひだけでは無く、新聞広告やポスティング…等を行いました。

企画内容については、初めて参加者全員に“おにぎり弁当”をお渡しして、試食頂きました。しかもこの“おにぎり弁当”は、相愛大学の学生たちが、近畿農政局主催のメニューコンテストに応募した作品をア



「メインテーマ」&初めて参加者全員に渡された「おにぎり弁当」

レンジすることができました。また製品化にはサンプルの総菜部門サンエッセンの方々には大変ご苦勞をお掛けしました。

基調講演のテーマ選定では北大農学部客員教授久田徳二さんに判りやすく面白そうな話題をお願いしタイトルを「食農教育はおいしい、おもしろい、感動する」として頂きました。現実の体験とそこから感じる経験こそが、本物を知ることに繋がる…という事です。実体験で体が感じた経験が本物を知る力に繋がり、自身の判断ができる。そして農業や食生活に向き合う事の大切さを具体的な事例で説明されました。北海道新聞社と北大の連携となる『アグリ大学』活動も大変印象的だったと思います。

便利になり過ぎた事と、体験を伴わない知識から判断する事が多くなってしまった現在、本物に触れる体験から得る感動：センス・オブ・ワンダーを強化することが「食農教育」に繋がるのお話でした。（詳細は久田さん寄稿をご参照ください）

続いて子ども達が主役の「子どもクイズ大会」は、相愛大学の管理栄養学部の学生6名に企画運営をお任せしました。子ども達に基調講演後まで居て欲しいと考え、基調講演後にクイズ大会を仕掛けましたが、なかなか思惑通りには行かなかったと思います。ただ近隣の親子連れが参加して頂いた事と大変楽しいクイズ大会だったと感じました。15名程が壇上まで上がってくれ、学生さんの巧みな話術とクイズ内容で、壇上の子ども達も楽しそうでしたが、見ている観客の皆さんも子ども達のしぐさや反応に対する笑い声がとても印象的で、和んだ一時となりました。クイズは〇×式で最初は易しい問題から始め、後半になる程に難

しい設問を出して頂きました。これは親子で参加された皆様に最後までお付き合い頂きたい思いもあって考えた企画ですが、大変盛り上がることに成りました。子ども達も意外に食に対する知識が豊かでした。印象的な設問は“キャビアはジンベイサメの卵である”とか“魚には赤身と白身があるが、サケ（鮭）は赤身である”の設問を正解できる子ども達に驚きました。（何れも×です）



相愛大学管理栄養学部の学生さんによる「子どもクイズ大会」

最後のパネルディスカッションは「食農教育の重要なポイントについて」についてパネリストとして株式会社サンプル社長山口力さん、相愛大学教授杉山文さん、「こどもカフェ」主催村上三保子さん、久田徳二さん、コーディネーターには小野理事（摂南大学教授）と摂南大学准教授中塚華奈さんで意見交換いたしました。地球環境から農業生産、流通の課題と食育の視点か

ら幅の広い意見を聞くことが出来たと思います。観客からの質問で“日本の農業政策の問題点”に関する指摘がありました処、閉会直後に近畿農政局次長で主賓の犬飼史郎（北大獣医卒）様自身が、直接質問された方に歩み寄り、説明・捕捉されていた様子も、良い意味で市民公開フォーラムらしく印象的でした。

（詳細は小野さん寄稿をご参照ください）

今回は企業のイベント協賛をお願いしませんでした。昨年同様130名程が参加頂けたと思います。

また展示コーナーの見学者も多くの方に観ていただき、特に「しものファーム」様、「山口農園」様のブースでは各社自慢の野菜を配っていただきましたし、お土産の北海道北竜町の減農薬米「ななつぼし」も好評だったと思います。

また閉会後の懇親会では犬飼次長にも引き続きご参加頂き、相愛大学から協力頂いた学生方も参加して頂きました。若者が数名参加するだけで会の雰囲気も明るくなり、同窓会委員の若返りも優先課題だと感じました。

今回は従来の路線から少しはみ出して、新たな取り組みを行いました。これも皆さまのご理解とお力添えによるものです。改めて皆さまに感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

（2024年8月記）



フォーラムを終えた関係者全員の記念写真



みなさんが恒例事業として市民公開の食のフォーラムを開催されていることに敬意を表します。また「食農教育」のお話をさせていただく機会をいただきましたことに感謝申し上げます。今日の演題に即して、若干の自己紹介を兼ね、少年時代のときめきの話から始めたいと思います。

<1> センス・オブ・ワンダー

私の生家は名古屋の稲作地帯にありました。小学生のころ、田に敷いた稲わらマットの上でのプロレスごっこと稲穂の香ばしい香りが大好きでした。その頃からお米が大好きです。満天の星空に心が吸い込まれた夏の日、いつまでも見惚れていた蛍の光も忘れられません。

小学3年の時、父が連れて行ってくれた静岡沖の船釣り。釣り上げたばかりの鰯を船頭さんが船上で捌き、炊きたてご飯の上に載せ、刻み葱と生姜醤油でいただいた時の美味しさはたまりませんでした。

中学1年の技術家庭の授業で、校庭の隅にジャガイモを植えた時のことです。粘土質の土で石ころと草だらけの場所で、イモがまともに育つとは誰も想像していなかったのですが、秋に掘ると地中に大きなイモが育っていました。イモの生命力に感動し、少年久田は翌春から菜園での野菜作りにハマりました。

こうしたときめきの中心には何があったのか。謎を解きたい心、自然の素晴らしさへの感動、ホンモノの食のおいしさ、というものだったのではと思います。自然そのものから感動を受け取れた幸せを感じます。イモは私を北大に導いたと言えるでしょう。ジャーナリズムと教育研究の道に進んだ私の原点だったのです。

近頃の子どもたちはいかがでしょう。机上の勉強以外には何をしていますか。

学校で実験や実習、生物観察はやっているのでしょうか。海や野山で遊んでいますか？「感じる」「考える」「覚える」のうちどれが多いでしょう。

私が惹かれる科学者の一人レイチェル・カーソンは著書『センス・オブ・ワンダー』の中で「神秘さや不思議さに目を見張る感性」の大事さを指摘しています。「知ることとは感じることの半分も重要ではない」とも言っています。



<2> 科学の限界と可能性

東北大地震で福島原発事故が起きました。設計上の「安全率」の範囲内であれば安全であるとの錯覚に陥った可能性があるのではないのでしょうか。本当の安全はどこにあるのでしょうか。

紅麹事件は多くの人の死亡や疾病につながったようですが、増殖方法の詳細や「未知の毒物」の正体は未だ不明です。想定外の毒性が健康被害をもたらす可能性に警鐘を鳴らしているのではないのでしょうか。

ゲノム編集という遺伝子操作で作られた

マダイと通常のマダイは一見区別が付きませんが、ある漁師はすぐに見分けました。ホンモノを見る目を持っているのです。

食品パッケージで分かる賞味期限。切れている食品を食べますか食べませんか。この時頼りになるのは私たち自身の生物感覚ではないでしょうか。



<3> 悲鳴あげる地球

「プラネタリー・バウンダリー」（惑星限界）が注目されています。地球の持続性を損なういくつかの問題が閾値を超えているという警告です。それは生物多様性の喪失、化学物質による汚染、土壌消失、気候変動などです。特に深刻な温暖化についてですが、温室効果ガス削減の効果は、電気自動車への転換などエネルギー分野よりもフードロス削減などの食農分野の貢献の方が大きいと試算されています。

このスライドの写真は何だと思いませんか。夜空の星のように見える無数の点は、土の中の（蛍光染色処置された）微生物です。この音は、土中微生物が生きている様子を数値化し、音に変換したものです。素敵な音ですよ。『微生物たちの交響曲』と呼んでもいいのではないのでしょうか。

最近の研究で、植物と土中微生物の共生関係が急速に解明されてきました。植物は光合成によって得る糖類の約4割を、根を通して土中微生物に渡し、微生物たちは生物の死骸などを分解して得られた窒素やリンなどの微量元素を植物に渡すという「物々交換」です。

地球上の炭素は総量で2兆2500億トンのですが、数千年前にはこのうち2兆トンの

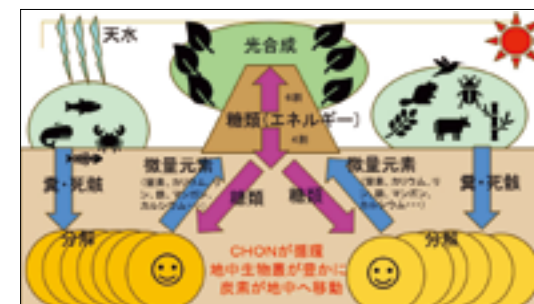
地表と地中に、残り2500億トンの炭素が大気中にありました。ところが現在は地表地中が1兆5000億トンの炭素、大気中に7500億トンの炭素です。5000億トンの炭素が地中から大気中へ移動した結果です。

「ゼロカーボン」は地中の炭素をこれ以上大気中に出さない大切な取り組みですが、これだけでは大気中の炭素は大きくは減りません。5000億トンの炭素を地中に戻すことが必要です。

欧州などは炭素を地中に「ドローダウンする」（引きずり下ろす）という運動を始めています。光合成ができる植物と微生物を多様で豊かにし、土を大切に取る取組です。「有機農業」「持続可能型農業」などの推進政策にも反映しています。地球環境の保全と人類の食料確保の鍵を握っているのはこうした農業だったのです。

その取組で大事なものは、「人間は生き物である」という事実です。食が「命」であり、農と漁から生まれることを多くの人が頭と体で理解することではないのでしょうか。これこそが「食農教育」なのです。

これから先は食農教育の実践例をご紹介します。



<4> 「おいしい」から学ぶ・実践例1

三重県伊賀市に「伊賀の里モクモク手づくりファーム」（14ha）があります。親子で遊びながら食と農を学べる「食と農の体験テーマパーク」です。養豚農家16戸が37年前にハム工場を建設し、加工調理販売を始めました。ドイツで加工や醸造を学んだマイスターたちの作る食肉やビール、ファーム内や近郊で生産したお米や野菜、

牛乳で作る料理やパン、スイーツなどはとても美味です。「ソーセージ作り」「搾乳」「キノコ収穫」などの多様な食農体験プログラムが、多くの子どもと大人を惹きつけています。ファーム内の農園での野菜栽培収穫体験、料理講習やパーティーもあります。大阪・名古屋から車で90分。年間50万人が来訪し、全国に通販・イベント参加の会員4万世帯を擁し、年間売り上げは50億円です。



<5> 子どもたちが変わった・実践例2

福島県喜多方市は2007年度に全国で初めて小学校で「農業科」を始め、2011年から市内全18小学校で実施しています。土づくりから収穫までの作業を田畑で農家に習い、年間35時間を費やして「農」を体系的に学びます。イネ、サツマイモ、トウモロコシなど学年ごとに異なる作物のお世話をします。作物とともに棲息動植物を観察、収穫後は料理や餅つきを行い、地域の人にも配っています。子どもたちは作物を含む多くの命に触れて感動し、自分たちで育てた作物の美味しさと同時に、農家の苦勞に気付きます。小さな命、友だちの命



を大切にすることも学びます。子どもたちがこういう思いを作文に書いており、食と農で子どもたちが変わったことがよく分かります。同市の教育長は「農業の持つ教育力は『生きる力』です」と話していました。

<6> ホンモノを五感で味わう・実践例3

私たち北大農学部と北海道新聞編集局の連携協力協定に基づく事業の一つに親子食農体験講座『あぐり大学』があります。小4～中3の子どもたちとその保護者が対象で、頭と身体を使って楽しく「食と農」を学ぶ講座。テーマは作物（リンゴ、コメ、牛乳、肉、野菜…）、花、樹木、昆虫、土、栄養、遺伝子、災害、食料危機、クラーク精神などで、すでに40回を数えています。大学の教員や学生、新聞記者らが一つ一つ企画して1回3時間前後のプログラムを実施、延べ2000人以上が参加しています。北大構内の牧場、農場、学部内実験室などを会場に、ホンモノを見て触れて五感で感じてもらっています。子どもたちは自然の姿を観察し、実験実習し、調理や議論、ゲームなどを体験する中で、知る喜び、自然の不思議さへの驚き、科学の面白さを感じているようで、子どもも大人も「おいしい」「楽しい」「感動した」と言っています。

子どもたちの「センス・オブ・ワンダー」が震え育つ場が食農教育です。みなさんもぜひ、自然の神秘に触れ、食と農、自然と人間が繋がっていることを感じていただきたいと思います。



第18回市民公開フォーラム パネルディスカッション報告

摂南大学客員教授 神戸大学名誉教授 小野 雅之(1978(S53)農経)



令和6年6月8日に開催した第18回市民公開フォーラムのなかで行われたパネルディスカッションの内容を紹介します。

このパネルディスカッションでは、市民公開フォーラムの

全体テーマ「考えよう！子どもの健康と食生活」を踏まえて、「食農教育の重要なポイントについて」をテーマにしました。コーディネーターは筆者と摂南大学准教授の中塚華奈氏、パネリストは「こどもカフェ」を主宰されている村上三保子氏、相愛大学人間発達学部教授の杉山文氏、株式会社サンプラザ社長の山口力氏と、基調講演をいただいた北海道大学客員教授の久田徳二氏の4名で、いずれも食農教育を最前線で実践されている方です。

テーマの「食農教育」は、コーディネーターの中塚准教授によると「食が有する多様な役割の大切さを伝える「食育」と、食べものを育む根本である農林水産業に関す

る知識習得や体験を含めた「農業教育」をあわせた総合教育」です。パネルディスカッションでは、消費者への食の提供の最前線であるスーパー（山口氏）、子どもを対象にした料理教室（村上氏）、大学生の活動とそれをサポートする大学教員（杉山氏）の3名から、それぞれの立場での活動を最初に発表していただきました。

山口氏からは、経営されているスーパーでの「食卓に安心と健康をお届けする」という経営理念に基づいた食育、食の安全・安心、環境・社会に配慮した経営などの取り組みについて発表がありました。また、SDGsやESG（環境、社会、ガバナンス）が重視されるなかで、農林水産省が進める「みどりの食料システム戦略」に則った脱炭素・温室効果ガス削減、大阪版カーボンフットプリントなどの取り組みとその見える化に加えて、地元大阪の農産物の販売や消費者と農業者との交流活動を通じて「食べて、健康になって、地域貢献」につなげていることが紹介されました。

村上氏からは、2010年から主宰されている2歳からの子ども料理教室「こどもカ



パネルディスカッションの会場



コーディネーターを務めた中原華奈氏(右)と筆者

フェ」での、料理を「上手につくる」ことよりも「楽しくつくる」ことをコンセプトにした活動について発表がありました。「こどもカフェ」では、子どもの手際が悪くて上手にできなくても親は手を出さずに見守ることによって子どもを自立へと導く子育て法や、子育ての楽しさを発見する喜びを参加者に伝えていることから、多くのリピータを得ていることが紹介されました。また、「食えること」とは「食材と仲良くなること」との考えから、料理にとどまらずに食材を知るために農業体験を含めた活動を行っていることも紹介されました。

杉山氏からは、相愛大学の学生を対象とした食育活動とSDGsの取り組みについての発表がありました。食品ロスをテーマにした学生チーム「ロスノン」による企業や農業生産者と連携した食品ロス削減レシピの開発をはじめ、この市民公開フォーラムを含めた様々なイベントへの学生の参加、規格外のため廃棄されてしまう農産物の大学食堂の食材としての利用など、食品ロス削減や地産地消、食と農をつなぐさまざまな活動の紹介がありました。



発表する村上三保子氏

「こどもカフェ」での、料理を「上手につくる」ことよりも「楽しくつくる」ことをコンセプトにした活動について発表がありました。

3名の発表の後、コーディネーター、久田氏を含めたパネリストに参加者も含めた意見交換が行われました。

食育が重視されるようになり、「食育基本法」が制定(2005年)されてから20年近くになりますが、子どもや若い世代を中心に朝食の欠食や主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の頻度の低さなど食生活に課題があることから、子どもや若い世代を中心とした食育の推進が重視されています。また、食と農の距離の拡大が指摘されるなかで、子どもの頃から農林水産物の生産に関する体験活動をすることによって農林水産業についての意識や理解を深めることや、地産地消や体験・交流活動によって食と農のつながりを深める活動も重視されています。



発表したパネリスト(左から山口氏、村上氏、杉山氏)と久田先生

このパネルディスカッションだけではなく、基調講演やパネル展示、クイズ大会など今回の市民公開フォーラム全体を通じて、参加された方々にとって「食」のあり方とそれを支える「農」との関係について理解を深めるとともに、それぞれの「食」について改めて考えるきっかけにもなったのではないかと感じています。



コメントする久田先生

特別寄稿

文武両道 北大出身のスポーツ選手たち

北海道新聞社大阪支社 報道部長 福田 講平(一橋大社会学部 H6 卒)



北大関西同窓会の皆さま、はじめまして。北海道新聞社大阪支社報道部長の福田講平と申します。前任地の運動部(札幌)や現在の大阪支社報道部では、スポーツ取材が主な業務です。ここ数年、北大出身の選手を取材、紙面で紹介する機会が多いことに気づきました。そこで、現在どういった選手たちが活躍しているのかを紹介するとともに、文武両道のアスリートを多く輩出する背景などにも触れてみたいと思います。

※年齢は2024年7月末現在

【表】北大出身の主なアスリート、五輪に出場した北大出身選手、現在は文壇で活躍する北大体育会OB

●北大出身の主なアスリート

氏名	競技	所属先	主な経歴
伊藤耕世	フライングフットボール	京都ジュベナイルズ	北大アメフト部出身。28年ロス五輪で正式種目となるフライングフットボール日本代表の主力
宮沢太成	野球	埼玉西武ライオンズ	北大野球部出身。23年、プロ野球西武にドラフト5位指名。北大生のプロ入りは初めて
高橋佑輔	陸上	アス・ラボ	23年、日本選手権男子1500m 2位。同年のアジア選手権で銀。17年、兵庫高3年で出場した全国高校総体の800m優勝
越智ますみ	カヌー	大分県協会	北大医学部出身。カヌースラロームの女子カヤッククロスで24年W杯日本代表。医師免許を持つ
中井祐樹	柔道、柔術、総合格闘技	日本ブラジリアン柔術連盟	北大柔道部出身。日本ブラジリアン柔術連盟会長。1995年、パース・ジャパン・オープン準優勝
平瀬律哉	セバタクロ		06年、アジア大会に日本代表として出場

●五輪に出場した北大出身選手

内田正練	水泳		1920年アントワープ五輪出場。100自由形予選(着順不明)、400自由形予選3位
伴 素彦	スキージャンプ		1928年サンモリッツ冬季五輪出場。個人ノーマルヒル38位。元全日本スキー連盟会長。元日本製粉社長
山田勝巳	スキージャンプ ノルディック複合		1932年レークプラシッド冬季五輪出場。ジャンプ個人ノーマルヒル32位、複合個人32位
伊黒正次	スキージャンプ		1936年ガルミッシュ・パルテンキルヘン冬季五輪出場。個人ノーマルヒル7位入賞
千葉幹夫	馬術	日本中央競馬会	1964年東京、68年メキシコ五輪出場。東京・総合馬術個人34位、総合馬術団体出場。メキシコ・総合馬術個人(失権)

●現在は文壇で活躍する北大体育会OB

増田俊也	柔道	作家	北大柔道部出身。著書に「七帝柔道記」「七帝柔道記Ⅱ」他。12年、「木村政彦はなぜ力道山を殺さなかったのか」で大宅壮一ノンフィクション賞と新潮ドキュメント賞を受賞
岩井圭也	剣道	小説家	北大剣道部出身。18年、「永遠についての証明」で野性時代フロンティア文学賞を受賞しデビュー。「われは熊楠」が第171回直木賞候補に

■北大出身アスリートの躍進

昨年の10月25日、北海道新聞の運動面に、フラッグフットボールという競技が2028年ロサンゼルス五輪の追加種目に決定され、北大アメリカンフットボール部出身の伊藤耕世選手(30)＝東京都出身、京都府在住＝が日本代表の主力を担う、という記事が掲載されました。

フラッグフットボールというのは、アメリカンフットボールから安全面を考慮して

2023年10月25日(水曜日)北海道新聞 朝刊 本紙 全道面 スポーツ 19ページ



伊藤選手を紹介する北海道新聞の記事＝23年10月25日付

接触プレーをなくした競技です。まだ4年先ですが、北大出身の選手として五輪に出場できるのでは、という期待が高まっています。

記事掲載の数日前、若手記者の原稿をデスク(原稿をチェック)したのが、私でした。原稿を読んだ際に「ん？また北大出身？」と思ったのです。

私が「北大出身」という言葉に反応したのは、陸上の高橋佑輔選手(25)＝アス・ラボ＝の存在があったからです。

高橋選手は21年の日本選手権、男子1500メートルで4位入賞。兵庫高3年の時の全国高校総体(インターハイ)800メートルを制した実績があったものの、日本選手権ではノーマーク。北大の緑色のユニホームを着た選手が1500メートルの決勝のスタートラインに立ったのをテレビで見て「え、北大？」と非常に驚いたことを記憶しています。

その後、北大院に進み、昨年のアジア選手権では銀メダル。今春に卒業し社会人として働きつつ、道内のクラブチーム「アス・ラボ」に所属して活動しています。今年6月の日本選手権では1500メートルに出場、13位でした。

伊藤選手の記事が掲載された10月25日の翌日、26日も同様のニュースが飛び込んできました。

プロ野球ドラフト会議で、北大法学部4年の宮沢大成選手(25)＝独立リーグ・四国IL徳島＝が埼玉西武ライオンズにドラフト5位指名されたのです。

2023年11月18日(土曜日)北海道新聞 朝刊 本紙 地域面 札幌市内 15ページ



北大で開かれた宮沢選手の記者会見を伝える北海道新聞の記事＝2023年11月18日付

宮沢選手は長野県立長野高出身。北大野球部で活躍していましたが、留年しているため23年は大学リーグに出場できず、同年春から独立リーグに飛び込み、ドラフト指名を待っていました。

カヌーでもパリ五輪出場を目指した有望選手がいます。

カヌースラローム・女子カヤッククロススの越智ますみ選手(26)＝大分県協会＝です。札幌生まれで札幌日大高から北大医学部に進み、大学からカヌーを始めました。今年6月にチェコで行われたW杯に日本代表として出場、パリ五輪出場権をかけて奮戦しましたが、医師免許を持つ異色の経歴に注目が集まりました。

■往年のオリンピックたち

戦前、北大出身のオリンピックは複数います。北大関西同窓会の会報の第86号(2022年3月)に、下岡健蔵さんが寄稿された「北大出身のオリンピック」によると、戦前には4人いたということです。また、北大馬術部出身の千葉幹夫さんは、64年東京、68年メキシコの両五輪に馬術競技で出場しました。＝表を参照＝

■柔道部と七帝柔道

五輪やプロ野球以外の競技でも、北大出身者は活躍しています。

今年7月に名古屋で行われた七帝柔道大会で、北大が見事3連覇しました。私が取材し、掲載した北海道新聞デジタル版の記事は以下の通りです。

<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/1036647/>
<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/1036957/>

北大柔道部OBで、元総合格闘家、現在は日本ブラジリアン柔術連盟会長の中井祐樹さん(53)の名前はご存じでしょうか。92年に北大中退後、プロシューティング(現在のプロ修斗)に入門し総合格闘家になりました。引退後はブラジリアン柔術を日本に広めたことで知られています。



七帝戦の決勝で九大の選手を抑え込む北大の横森(上)＝23年7月7日

■アスリートを育む土壌

スポーツ推薦などで実績のある優秀な選手を集めることができない北大の選手が、なぜ活躍できるのでしょうか。この点について、私は先述の伊藤、高橋、宮沢、越智各選手に直接取材をしていないため、はっきりとしたことは言えません。ただ、今回、七帝柔道の取材をする中で、感じたことはありました。

北大柔道部出身で、「七帝柔道記」「七帝柔道記Ⅱ 立てる我が部ぞ力あり」の著者である作家の増田俊也さん(58)は、「北大に限らず、七帝の選手は受験勉強を通じて自分を律する習慣を持っている。目標を持ってなにかをやるときに計画を立てて、自分を苦しみの渦中に持って行くことを一回やっているのは大きい」と言います。

著名な柔道家による講習会では、北大の選手がメモを取りながら講師を質問攻めにして離さない光景が見られるそうです。こういった習慣や姿勢が、スポーツでも生かされているのではないのでしょうか。

また、北大出身者は、常識にとらわれず、自分の好きな道を突き進むことを恐れないフロンティア精神を持ち合わせていると感じます。

中井さんは大学4年の七帝で優勝した後、大



増田俊也さんの著書「七帝柔道記Ⅱ」

学を中退、プロシューティング（現在のプロ修斗）に入門し総合格闘家になりました。

私は当時、一橋大学柔道部の3年生。北大とは毎年、合同合宿などで交流がありました。私の1学年上の中井さんが大学をやめてプロの道に進んだと聞き、大変驚きました。今もそうですが、当時は特に旧帝大を出れば一流企業や官公庁に就職するのが当たり前。安定の道をあっさり捨て、自分の好きな格闘家の道を選んだ中井さんのことをうらやましく感じたのを覚えています。

中井さんに限らず、大学卒業後にフラグフットボールという新しい競技に飛び込んだ伊藤選手、プロを目指し在学中に独立リーグでプレーした宮沢選手などにも、同様のフロンティア精神を感じます。

■おおらかさ

もう1点。北大で特徴的な特性は「おおらかさ」ではないでしょうか。

中井さんは大学4年の時、七帝で北大の12年ぶりの優勝に貢献します。ただ、一部の他大学のように1、2年生に守備だけを練習させるようなチームづくりはあえて

しませんでした。「できるだけ選手のいい柔道をやってもらう。北大は良くも悪くも淡泊。人が良すぎるというか。でも俺らは、ヒューマニズムの観点から、下級生に守りだけをさせるようなことはしませんでした。やっぱり、1年だって攻めたいでしょう」

他大学に比べておおらかな分、勝てない時は勝てないというのが中井さんの見解です。「本人の個性重視というか、のびのびやる。それが僕が好きなのですね。それが今も柔術とか総合格闘技をやっているところでもある」。柔術の道場生にも、自分のやりたい格闘技を追求してほしいという気持ちの方が強いため、ある程度自由闊達（かつたつ）にできる部分を残すように心がけているそうです。

「北大というか、北海道マインドじゃないかと思えますけどね。伝統をないがしろにしているわけじゃないけど、わりと寛容ですね」。石狩市（旧浜益村）生まれ、札幌北大出身の中井さんならではの意見です。

北大マインド、北海道マインドに育まれたアスリートたちの活躍を、今後もお伝えし続けようと思います。

福田 講平さんについて

関西同窓会会長 植松 高志（1973（S48）法）

この度、8月24日（土）の北海道新聞朝刊コラム『今日の話題』で「北大関西同窓会・北大会館」を紹介していただきました。記事を書かれた方は、福田講平氏（北海道新聞社大阪支社・報道部長（兼）論説委員）です。関西同窓会・北大会館は「会員増強を図り、北大会館の利用者を増やし、お互いの知徳と親睦を深め、北大の目的及び使命発展に寄与すること」を目指しています。私たちは、その根城である「北大会館」をPRすることは極めて重要であると考えてい

ます。福田氏には感謝とお礼を申し上げます次第です。

◇福田さんは今年の3月に道新運動部(札幌)から大阪支社に赴任され、4月末に「北大会館」にご挨拶に来られました。当日の会館当番が応対し、「一橋大学柔道部出身の道新記者の面白い男が北大会館を訪問した。特に北大のスポーツ等に知見が深く、長時間話がはずみました。」との報告をいただきました。早速、私は福田氏に「北大会館祭や二水会・三金会をはじめ各種行事の案内」を

させて頂いた次第です。

◇福田さんには、取材も兼ねて、北大会館祭や三金会に出席していただくようになり、懇親会等では親しくお話をさせていただいています。私は「恵迪寮生・応援団」でした。福田氏がこの会報91号に寄稿して下さった「文武両道 北大出身のスポーツ選手たち」に興味深く読ませていただき、かつ痛快な気分になりました。

『今日の話題』のなかの「北大OBでない私も北海道の話をした時に立ち寄ったり、面白そうなテーマの講演を聴いたりしている。顔を出すうちに『都ぞ弥生』も少し歌えるようになった。」との記述には嬉しい限りです。

◇七帝柔道大会(七大戦、7月6～7日、主管・名古屋大学)は、北大の3連覇で幕を閉じました。福田さんは名古屋に馳せ参じ、北大柔道部OBを取材し『1匹のトラより15匹のオオカミ』3連覇の北海道大OBが語る

七帝柔道の神髄』を記事にしました。北大アメリカンフットボール部の後輩がその記事を送ってくれました。福田さんは、応援に来ていた私の同期の小菅正夫（柔道部主将、元旭山動物園園長）、増田俊也（七帝柔道記の著者）、中井祐樹（総合格闘家）の柔道部で活躍した3人を取材して、北大柔道部が3連覇するに至った過程を解き明かしています。「1匹のトラより15匹のオオカミ」とは小菅君の「超弩級（1人で相手を何人も倒せる絶対的な『抜き役』）の選手は、1人じゃ止められない。ほかの大学には超弩級が何人もいた。それで出した結論が、抜き役をつくらない、全員が引き分け狙いの『分け役』ができるチームだった。」との言葉に由来することを初めて知った次第です。なお、七帝柔道大会は15人の勝ち抜き団体戦で「全員が引き分け狙いの『分け役』が勝利を呼び込むポイントなのです。



松下 秀之（1979（S54）農化）

2024年6月28日、北海道大学植物園（北3条西8丁目）にて、札幌農学同窓会の「2024年親睦園遊会（ガーデンパーティー）」が開催されました。

私は昨年に続いて、参加させていただきました。事前に登録されていた方だけでも190名の出席者（昭和卒124名、平成卒27名、令和卒6名、現役学生7名、特別会員4名、同伴者22名）が参加されました。



植物園入口にて、松下もお手伝いしました。

お天気にも恵まれ、清々しい緑のあふれる植物園で、夕方17時、札幌農学同窓会理事長 松井博和先生のご挨拶で親睦園遊会は開園しました。

また、ご来賓として、寶金清博 北海道大学総長、杉江和男 北大校友会エルム会長にも、ご参加いただきました。



松井博和 札幌農学同窓会理事長のご挨拶



寶金清博 北海道大学総長のご挨拶



杉江和男 北大校友会エルム会長のご挨拶

今年の園遊会でも、開園前から、「北海道農民管弦楽団」を主宰する同窓生が率いる「トリオ・マモーレ」の素晴らしい演奏が流れ、クラシックミニコンサートも開催されました。



「トリオ・マモーレ」のクラシックミニコンサート

料理は、昨年も好評だった、「ケータリング美利香」の皆さんによる手作り料理が並び、一流ホテルのバイキング以上に素晴らしい料理でした。

また今年は、現役の北大農学部大学院生、宮地帝輔さんが起業したパイオビアが製造したビール、「北大未来開拓倶楽部ビール」も登場しました。



「ケータリング美利香」の皆さんによる手作り料理



親睦園遊会の会場風景

関西からは札幌農学同窓会関西支部の山田理事長（本部理事）、山本専務理事（本部代議員）、松下理事（本部代議員）、波多相談役（本部代議員）の4人が参加しました。

札幌農学同窓会の仲間で、北海道大学農学研究院長の野口 伸 先生そして北海道大学理事 副学長の横田 篤 先生からもご挨拶をいただきました。



野口 伸 北海道大学農学研究院長のご挨拶



横田 篤 北海道大学理事副学長のご挨拶

会場の北大植物園は、200万都市札幌の町のど真ん中に位置しており、緑豊かで、この日は貸し切りで、しかも普段は飲食ができない北大植物園で、札幌農学同窓会の親睦園遊会は行われました。

素晴らしい同窓会で、昔のこと、これからのこと、たくさん話をしました。「来年もここで会いましょう」と約束し、全員が輪になって、都ぞ弥生を歌いました。



“都ぞ弥生”を大合唱

北水同窓会のイベントへのお誘い

中田 邦彦 (1986 (S61) 水食品)

北海道大学水産学部同窓会(北水同窓会)大阪府支部の副支部長を務めさせている中田邦彦です。今回は、北水同窓会大阪府支部(以下北水大阪府支部)の近況について説明させていただきます。まず初めに、北水大阪府支部の概略について説明させていただきます。北水同窓会大阪府支部は、北海道大学水産学部あるいは大学院の卒業生を対象とした同窓会組織である北水同窓会(本部 函館)の各都道府県にある支部の一つとして存在しております。現在、その会員は、大阪府のほか奈良県の在住、在勤の方を中心に、兵庫県や近隣府県の方もご参加していただいております。また、他の都道府県の方にも来ていただいたりしています。

活動内容としては、第3土曜日の17時より北大会館で行われる例会、2年に1回行われる総会を行ってきました。さらに、新人歓迎等を兼ねたてんしばジンパを年2回ほど行っています。

例会

例会は、主に行事の打ち合わせをしたり、食事をしながら交流を深めたりすることが多いです。また、最近では、この例会に1時間ほどの講演会をおこなっていただくことを始めました。なお、この講演会では、北大会館に設置のズーム、大型モニターを用い、遠隔地の方を演者としてお話を伺いするという試みも行っております。もちろん、当日、北大会館に行けない方のためにズームでの参加も可能です。今までに行った主なものは以下の通りです。

(1) フロンティアを切り拓く西アフリカから始めるキャリア

～マリ共和国の今を伝える～

増村友博(令和4年 海洋生物資源卒)
(マリ共和国から)

(2) 地球温暖化の未来を変える

～2023年おしよ丸北極航海の乗船と Floatmeal 株式会社の挑戦～
北村もあな(北大水産科学院 修士1年 / Floatmeal 株式会社 代表取締役)
(函館から)

(3) 函館発の国家規格「魚類の鮮度(K値)試験方法」の紹介

吉岡武也(北海道立工業技術センター)
(昭和60年水産食品卒)
(函館から)

(4) 琵琶湖の漁業 - その現状と課題、そして取り組み -

澤田宣雄(滋賀県漁業協同組合連合会)
(昭和57年水産増殖卒)
(北大会館にて)

このように学生さんも含めて、海外や北海道からも短い時間ですが、ご講演いただいております。

総会

総会は、2年に一度開く大阪府支部総会(以下支部総会)と数年に一度回ってくる本部の総会(以下本部総会)があります。いずれも中之島センタービルの31階のおまんというところで開催されることが多いです。前者は、年次報告と行事の予定や予算案、次期役員の承認等になります。それから講演があって、懇親会で終わります。また、本部総会は、本部からの報告事項を聞くことが主になります。通常は、支部総会と本部総会は同時にすることが多いのですが、今年度は、支部総会を今年の11月

に行い、講演を元農林水産大臣政務官、元復興副大臣の横山信一(昭和58年水産増殖卒)に行っていただき、本部総会は、来年の万博の年の5月に開く予定でいます。

てんしばジンパ

今まで、総会と例会だけだったのですが、昨年より年2回 大阪の天王寺動物園の前のバーベキュー場でジンパを行うようになりました。屋根があるので雨天決行ですし、交通の便がよいところです。もちろん、肉はラムの肉を北海道からとりよせ、さらにベルのたれを購入して舌鼓を打ちながら交流を深めています。もちろん、ご家族での参加也大歓迎にしております。

まとめ

北水大阪府支部の現時点での行事をご説明させていただきました。マンネリになりがちな同窓会に、こまめに講演会を入れて、学生さんの話を聞いてみたり、少しは勉強してみたりしています。また、昔に立ち戻ってジンパに興じてみたり、若い人などにも気軽に参加していただき、バトンタッチしてゆければと思っています。

同窓会では、ホームページ(<https://hokusuiosaka.net/>)を開いており、随時情報を発信していますのでご高覧いただければとおもっています。

また、北水同窓生以外の関西同窓会の皆さまにも北水同窓会のイベントなどにご興味があればご参加いただければと思いますのでよろしくお願い申し上げます。



ジンパ終了後の集合写真(筆者は後列左端)

【2024年第2回 北大 関西同窓会 若手交流会 開催報告】 ～ 関西在住の北大同窓生と“珠玉のジンギスカン”楽しみませんか!～

近藤 武憲 (1994 (H6) 経済)

2024年7月20日(土)に、ヤマダモンゴル道頓堀店で、2024年2回目の若手交流会を開催いたしました。ヤマダモンゴルオーナー様のご厚意により、お店は貸し切り!

何と食べ放題・飲み放題!さらに、ジンギスカンも、本場さながらの最高級の生ラムをご用意いただいたので、参加者36名、大いに食べ・飲み・そして語り合いました。

皆さん、過ごした年代も場所も違うものの、「北海道大学」という学び舎で学んだ仲間という事で、一瞬で意気投合!懐かしい思い出やエピソードなど、学生時代に思いを馳せ大いに楽しんでおられました。

18時30分スタート!終了は21時30分終了の予定でしたが、全く衰えることのない盛り上がり、幹事としても終わらせることが出来ず、結局22時過ぎまで大騒ぎ。

最後は、「都ぞ弥生」の大合唱で締めくくりました。そこは、もう、大阪道頓堀ではなく、北大キャンパスだったような気がします(笑)

今後も定期的にこのような交流会を開催したいと考えております。今回参加頂いた方はもちろんですが、参加できなかった方も、是非とも、ご参加お待ちしております。

■実施概要

日時: 2024年7月20日(土)

18時30分～22時

場所: ヤマダモンゴル道頓堀店

大阪市中央区西心斎橋2-4-8 大喜ビル1F

地下鉄御堂筋線なんば駅25番出口徒歩5分

■参加者36名

■参加者からの声

○交流会に参加して(平成12年法学部卒 林由紀子さん)

交流会、参加することが出来て、本当に良かったです。

今回は、札幌にもお店がある「ヤマダモンゴル道頓堀店」を貸切ってという、盛大なものでした。本場さながらの“ジンギスカン”そして、同窓生の皆様との熱い会話!あっという間の3時間でした。最後は、「都ぞ弥生」の大合唱!今も、頭の中で、あのフレーズがぐるぐるしています(笑)

次回の会(10月の琵琶湖ジンパ)を楽しみに、日々の仕事を頑張りたいと思っています。

○大阪×ジンギスカン×久しぶり(平成22年工学部卒 寺尾一孝さん)

関西の北大同窓会はコロナ禍前の独身時代は時々参加していましたが、直近は育児などでなかなか行くタイミングがなく久しぶりに参加させていただきました。やはりジンギスカンは最高ですね。酒!飲まずにはいられないって感じでした。そして初めましてでも会話が弾む交流会はあっという間の時間で気づけば肩を組んで揺れてました笑。次は子供連れてジンパ行けたらと思います。



鉄のジンギスカン鍋で焼く最高級の生ラムと野菜。
癖がなくとってもおいしい!



お店をジャック!暖簾を北大関西同窓会の旗に変えてしまいました(笑)。(中央が筆者)



参加者の声を提供してくれた林さん(手前テーブルの左端)と寺尾さん(同左から3人目)。



幹事の北村さんによる冒頭のご挨拶。
バックには北大の動画が流れています。

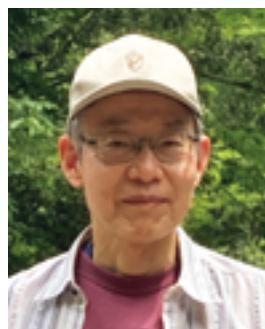


最後は都ぞ弥生の大合唱。
皆さん気持ちは学生時代に帰っています。



解散前に北大の旗をバックにお店のスタッフと参加者全員で。皆さん笑顔が弾けています。

高島 哲彦 (1978 (S53) 農)



私は、1980年に農芸化学農薬化学の修士課程を修了し、化学会社で研究職について41年間勤務しました。定年後再雇用が終了したあと、新型コロナ禍の先が見えない状況でしたので、しばらく

自宅で休養をとったあとハローワークやキャリア人材バンクで求職活動をしました。なかなか希望にかなう職をえることができませんでした。少し早いですが、仕事はあきらめてボランティア活動をはじめることになりました。以前から入会していた(一社)近畿化学協会の化学技術アドバイザー会に入会し各種研究会に参加するとともに大学からの委員委嘱に応募しています。

北大同窓会については、定期的にご案内をいただいていたのですが、在職中はまだ縁遠い気がして参加することはありませんでした。転機は、昨年秋に卒業後初めての同期会が札幌で開催され出席したことです(「45年目の同期会」波多野隆介、札幌農学校同窓会誌第26号 pp. 46 - 48 参照)。このとき次回は関西で集まろうという呼びかけがあり、関西地区の同期、山田、大田黒両氏と相談して来年3月神戸で開催を企画中です。

これで一挙に里心がついたようで北大同窓会に入会しました。北大会館とお付き合いは、二水会、三金会の行事にリモート参加することから始まりましたが、自分でもできることがあればお手伝いしたいと思う4月から会館当番を分担させていただくことにしました。会議室で各種セミナーがある日は傍聴させていただき楽しんでます。また、わたしよりご高齢の方々がいき

いきと講演・質疑される姿を見てたいへん励まされています。一歩すすめて、この秋からは社員として運営に参画させていただくことになりました。

さて、新聞記事で目にとまったサードプレイス「The Third Place」という言葉があります。1989年にアメリカの都市社会学者 Ray Oldenburg が著書「The Great Good Place」の中で提唱し注目されたものです。ひとびとが家庭(第一の場所)と職場(第二の場所)を往復する生活に追われているなか、それらとは別に存在する居心地のいい場所(第三の場所)の意義をうたっています。そこは、義務や必要性にしばられるのではなく、みずからの心にしたい、すすんで向かう場所。趣味や息抜きなど心安らぐ場所です。これは、北大同窓生 OB に対する北大会館のもっともだいじな役割ではないかと思ひあたりました。

ご承知の通り北大会館は、会議室を趣味や交流の場として OB および一般の方にリーズナブルな料金で提供しています。また、OB の協力を得て二水会、三金会でみなさんの知的好奇心を満たすような講演会を企画しています。わたしも、自分の経験・知識をいかしてムリせず北大会館の運営に微力ながら協力していきたいと思ひます。北大会館がわたしとわたしたちのサードプレイスとなりますように！



2023年11月4日 農化同期会(中列左から二人目が筆者)

水谷 潤 (1986 (S61) 農・林産)

この4月に関西同窓会に入会いたしました S56 年理 I 系入学、S61 農学部林産学科卒の水谷 潤と申します。生まれは名古屋ですが、大学卒業後は関東に22年、中国(中華人民共和国)で3年仕事した後に大阪に転勤し、現在、在阪14年になります。

最近作文などしたことのない私ですが、恵迪寮の植松大先輩(S48 法)からの依頼ですので、学生時代の一番印象に残っている恵迪寮の経験と社会人の時の話を中心に自己紹介も含めてご挨拶させていただきます。

北大・恵迪寮の学生時代

北大志望動機は当時の志望者にありがちな浪漫あふれる北海道への憧れでした。入学したら寮に入るのは親の経済的にも大前提で、当時の恵迪寮は食費が1日3食で420円1か月毎日食っても寮費食費合わせて18,000円で済み、必要不可欠な存在でした(学費も年間18万円)。最初は「北大の寮は安いけど汚い、パンカラで荒っぽい」というイメージでしたが、当時ラジオ大学受験講座の中である先生が必ず寮歌を1曲歌って思い出を少し語るのを聞くにつれ、不安は消え、恵迪寮もあこがれの一つに変わっていききました。

故郷を離れ入寮すると、先輩達はその晩から毎日欠かさず飲み連れて行ってくれました。今の寮もそのようですが、大部屋で部屋毎に名前を付けサークルのように集団生活をする形でしたが、6人の先輩のうち5人は留年しており、それが寮生のスタンダードだという勘違いから私の大学生活は始まりました。「酒の一滴は血の一滴」とか訳の分からん言葉を覚えたのもこの頃です。

「尽きせぬ奢り」が続く中、気が付けばこれまでの生活では経験の無かったお互いの腹の底に食い込むような本質的な深い話

を夜な夜なしていく中で、自分の長所短所だけでなく、相手に対する敬意や友情等も深まっていき、この中で自己形成をしていく楽しさに胸が膨らんでいったのを感じています。ただそんな生活を続けていけば留年の危機がやってくるのは必然で、前期が終わる前には、進級はもちろん当初の目標だった電子工学科への移行もあきらめることとなりました。留年が決まった冬からは更にドブプリはまってみようと思寮運営をする執行委員会に入りました。当時(昭和57年)は新寮への移行が一年後に迫っており学校側との折衝等難しい時期で、それまでなら絶対に知り合いにならんような難しい事を考える人と、今まで話したことも無いような内容～寮の自治を守る為に学生部との団体交渉がどうのこうの～を夜遅くまで話し込む毎日が続きました。なかなか濃密な5か月ではありましたが、さすがに自分のカラーではないと思い、1期務めた後は文化常任委員長を志願して、運動会・水産追いコン・観楓会(定山溪迄30kmを夜通し歩いて紅葉を見る会)等寮の行事を取り仕切る係をしました。この方がいろんな人とつながりが持て、性分に合って楽しい日々でした。そんなかなで随分チャレンジ精神や人間磨きができた濃密な2年間の寮生活でした。



恵迪寮在寮時代

旧寮閉寮のタイミングで寮の親友と寮を出て共同生活を始めました。その後は留年もせず農学部林産学科に移行し木材加工学を専攻そして大和ハウス工業に入社。購買部に配属され、購買部門一筋で38年働いています。

大和ハウス工業株式会社での勤務

購買部という買う立場の楽で偉そうな印象をお持ちの方も多いかと思いますが、むしろ逆が多かった印象です。入社半年でバブルの波が押し寄せてきて、建設業界は慢性的な材料納期遅延と極度の職人不足への対応に迫られました。出稼ぎ職人の確保の為、東北や北海道に赴いて頭を下げて何とか来てもらう約束を取り付け、来てもらった職人達を横浜の中華街で接待をした後、旅館に送り届けて、大部屋はイヤだという人と差し入れた日本酒で飲み直して何とか丸く収めた・・・等々、結構人と人向き合う場面が多く、学生時代の経験が役に立ちました。



仕事で大阪城をバックに

2008年には中国江蘇省蘇州で日本企業初の中国人向けマンション900戸の開発をするという話を聞いて、是非参加したいと志願して事業メンバーに入りました。商習慣も考え方も違い、ましてや会社の看板が全く通用しない世界ですので、こちらとしては品質の為に細かい約束事を契約に入れたのですが、彼らからすると日本人は小さい仕事（あちらでは900戸は小さいと言われます）の割に細かい事ばかり言って

くる困った人でした。当時の中国マンションは快適性より見た目重視で見えない所に金を使わないが一般的な中、本来価値があるマンションとは、材料も含めて品質がよくアフター体制も有る（当時の中国ではアフター体制等無く売りっぱなし）実際に住む人が快適で安心、という事が実は大事で顧客の信頼を掴みブランド力を上げる、という話を現地の人に話し込むとそれに共感してくれる人も多く、その後の中国のマンション開発にも影響を与えられた評判のマンションとなったかと思えます。国は違えど気持ちは通じるもんだと、ここでも学生時代の経験が生きたかなと思えます。



中国 マンション完成時に（右から3人目が筆者）

関西同窓会に入会

入会の動機としては、北大に対する思い入れもある方で、会社の職場も梅田で、北大会館も近いので一度顔を出して入会しようと思ってましたが忙しさにかまけて後回しになってしまっていました。仕事としては購買部門の指導支援で全国を回っている日々で、行事等積極的に参加できませんが、最近夕方6時半から開始の「三金会」には極力出席しようと努力しています。秋の寮歌祭は必ず出ると、西日本恵迪寮同窓会幹事長の青木さん（S59水漁）と約束をしています。なるべく皆さんと交流を深めたいと思っています。こんな私ではございますが、今後ともよろしく願いいたします。

北海道大学関西同窓会

顧問 米田 昌弘
(昭30 工・機)

〒651・1132 神戸市北区南五葉五丁目二四
FT AE XL ○七八 五九一・一六四一〇

北海道大学校友会エルム

北海道大学校友会エルムは同窓生のみなさまのご登録をお待ちしております。

会員登録は校友会 Web サイトで行うことができます。

詳細は校友会 Web サイトをご覧ください
<http://www.alumni-hokudai.jp/>

校友会エルム

(お問い合わせ・校友会エルム事務局)
TEL : 011-706-2101
E-mail : kouyukai@general.hokudai.ac.jp
営業時間：月～金 8:30～17:00

北海道大学関西同窓会

顧問 濱本 富美雄
(昭32 工・土木)

〒659・0031 芦屋市新浜町二丁目一〇三
FT AE XL ○七九七 三一〇・一四九

シマエナガ

顧問 大野 正浩
(昭36 水・製)

〒661・0035 尼崎市武庫之荘三丁目一七
FT AE XL ○六〇 六四三・六四三八〇
携帯 ○九〇・五〇四五〇・五六八

北水同窓会大阪府支部
北海道大学関西同窓会

顧問 石澤 登
(昭37 農・農化)

〒567・0012 茨木市東太田二丁目三二
FT AE XL ○七二 六二五・二〇九六

(一社) 札幌農学校同窓会関西支部 理事
北海道大学関西同窓会

顧問 石澤 登
(昭37 農・農化)

〒567・0012 茨木市東太田二丁目三二
FT AE XL ○七二 六二五・二〇九六

北海道大学関西同窓会

副会長 三上 陽一
(昭37 理・物)

〒610・1141 京都市西京区大枝西新林町
TEL ○七五 三三一・八三五七

くさか基金代表
(一社) 北海道大学関西同窓会館 理事

日下 大器
(昭37 農・生)

〒663・8113 西宮市甲子園口二丁目五十四〇六
TEL ○九〇・九〇九七二・二五二

北水同窓会大阪府支部

顧問 徳永 徹
(昭37 水・製)

〒534・0027 大阪市都島区中野町五丁目一四
桜宮リバーシティ NAC 二丁目二〇六
携帯 ○八〇・一四四三・一六五〇五

北海道犬

Be ambitious を読もう!

北海道大学同窓生の多岐にわたる活動が読めます。
会員の方には無料で配布します。
会員になって下さい。

会長 植松 高志
北海道大学関西同窓会



五稜郭

新コスモス電機株式会社

相談役
重盛 徹志
(昭43 理(修・物))

<http://www.new-cosmos.co.jp>

北水同窓会大阪府支部

理事
久保田 幸一
(昭45 水・化)
携帯(〇九〇)八三八一〇八七五

(一社) 札幌農学校同窓会関西支部

相談役
三津 正人
(昭45 農・農工)

〒562・0045 大阪府箕面市瀬川一〇九二四
TEL(〇七二)七二四一六八〇五
e-mail: masatomitsu322@gmail.com



西日本恵迪寮同窓会 相談役

北水同窓会大阪府支部 理事

浦谷 義博
(昭45 水・水化)

〒520・2421 野洲市野田一六七九

北水同窓会大阪府支部

顧問
入江 和彦
(昭45 水・漁)

携帯(〇九〇)三六七六一五〇〇二
e-mail: kaz-riee@k3so-net.ne.jp

北海道大学関西同窓会

会長
植松 高志
(昭48 法)

株式会社セレッソ大阪 相談役
北水同窓会大阪府支部 顧問

藤田 信良
(昭48 水・漁)

〒554・0042 大阪市此花区北港緑地一〇二二五
TEL(〇六)六四六四一一一〇
e-mail: n.tajima@cerza.co.jp

(一社) 北海道大学関西同窓会館

亀田 康二
(昭47 農・農化)

TEL(〇七五)七二一八四一四

丸二倉庫株式会社

代表取締役
湯川 康史
(昭47 経済)



昭和27年(1952年)5月設立
工業薬品の製造・販売

要薬品株式会社
代表取締役 **嶋田 誠**
(昭42 農・農工)

本社: 〒550-0003 大阪市西区京町堀 3-2-7
Tel 06-6445-0876 <http://www.kaname-chem.co.jp>
臨海第1工場・臨海第2工場(堺市西区築港浜寺西町)

特定非営利活動法人
大阪府砂防ボランティア協会

顧問
丸山 明
(昭43 工・土木)

e-mail: osakasabovo@tea.ocn.ne.jp

北海道大学関西同窓会

副会長
山田 正幸
(昭37 薬)

〒666・0112 川西市大和町二一六一六
TEL(〇七二)七九四一六四〇

石原産業株式会社

社友
織田 健造
(昭41 理・地産)

〒665・0845 宝塚市栄町二丁目六二二〇七二
TEL(〇七九七)七五九八二七
e-mail: kenz3914@city-so-net.ne.jp

(一社) 北海道大学関西同窓会館代表理事
西日本恵迪寮同窓会 相談役
北海道大学関西同窓会

副会長
伊藤 靖久
(昭42 工・建)

〒665・0886 宝塚市山手台西二一九一四
FTAE XL(〇七九七)八九一四三五一
e-mail: yasuhisa_ito@nifty.com



キタキツネ

(一社) 北海道大学関西同窓会館 理事
間中技術士事務所 代表
北海道大学関西同窓会

相談役
間中 俊夫
(昭37 工・機)
〒658・0065 神戸市東灘区御影山手二一九一〇〇
TEL(〇七八)八五一四八三一
e-mail: t.manakata@docomone.jp

(一社) 札幌農学校同窓会関西支部

顧問
和田 武夫
(昭40 農・農化)

〒569・1024 高槻市寺谷町二四一八
TEL(〇七二)六八九一六五八
e-mail: wada.takuo@nips.jp.la.or.jp

(株) タクマ

名誉顧問

手島 肇
(昭42 工・衛)

<http://www.takuma.co.jp>

前身: 明治3年創業
(本家藤井錦ふとん店)
2020年11月 株式会社設立
理想の自分に邁進(マイン)する
(永遠のBoy's be ambitious)

株式会社 **ボビサス**
代表取締役
藤井 英嘉

〒561-0881
豊中市中桜塚2丁目27-22
(阪急岡町駅: 原田神社正門鳥居前)
TEL (06) 6852-5253
FAX (06) 6843-2393
携帯 080-1975-8008
e-mail: hideosannmaru3@yahoo.co.jp
(HP <https://rurihall.com> 他)

(一社) 札幌農学校同窓会関西支部

農学部同窓生の集い!!!

〒530-0001
大阪市北区梅田1-2-2-200号
大阪駅前第二ビル2階北大会館内
理事長 **山田 勝重**
(昭53 農・農化)
TEL(06)6343-3736

(一社) 札幌農学校同窓会関西支部
京都大学名誉教授

顧問
天知 輝夫
(昭38 農・農化)

〒520・0022 大津市柳が崎九番一三三三三
FTAE XL(〇七七)五七二六五八八

顧問
水内 修
(昭39 経)

北海道大学関西同窓会

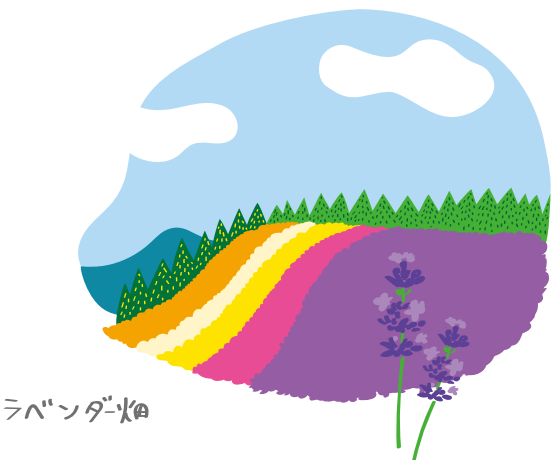
顧問
水内 修
(昭39 経)

Be ambitious 91号の発刊に協賛します。

井上 和男
(昭46 工・合化)

日沖 勲
(昭40 農・工)

下岡 健藏
(昭45 工・応物)





代表取締役
不動産鑑定士
松元照幸
(昭48 工・土木)
〒651・0083 神戸市中央区浜辺通五・一・一四
神戸商工貿易センタービル八階
TEL (〇七八) 二七・一七八五五
FAX (〇七八) 二七・一七八五五

弁護士
中島光孝
(昭49 法)
中島光孝法律事務所
〒060・0051 札幌市中央区南一条東二丁目一三
和興ビル七階一号室
TEL (〇一一) 五九六・七四三
FAX (〇一一) 三五一・五二〇〇

北水同窓会大阪府支部
支部月例会(懇親会)を毎月開催
北大会館にて毎月第3土曜日 17:00～
会費 2000 円、飛入り参加歓迎です！
〈事務所〉
〒530-0001 大阪市北区梅田 1-2-2-200号
大阪駅前第2ビル2階 北大会館内
支部長 **大橋 人司** (昭56 水・漁)
TEL 06-6343-3736
e-mail: hokusui-osaka@mail.goo.ne.jp
http://hokusuiosaka.d.dooo.jp/
支部ホームページ



北海道産業集積アドバイザー
株式会社サンプラザ 開発部
田中文夫
(昭50 水産食品卒)
TEL 090-1027-7830
E-mail ftnaka@hokusuiosaka.net
水産経済新聞大阪支局 次長
川邊一郎
(平3 水産増殖卒)
TEL 070-5086-6577
E-mail kawabe@suikinet.jp
●その先の、道へ、北海道●

代表取締役
池崎博之
(昭51 工・機械)
日本絨氈株式会社
〒592・8352 大阪府堺市西区築港浜寺西町八・一二
TEL (〇七二) 二六八・〇二〇
《事業内容》各種カーペット・敷物の製造販売

有限会社あんでばんだん 代表取締役社長
サブリメント管理士マスター
北水同窓会大阪府支部 顧問
大村泰治
(昭51 水・食)
〒530・0053 大阪市北区末広町二・一七
エスデムコート梅田サカサレ三〇二二号
携帯 帯 (〇九〇) 九一六・二四九一四
e-mail: opcl711@narae-yahoo.co.jp
URL: https://www.andepandan.com/



従業員がイキイキ活躍する、組織営業力強化の専門家
認定経営革新等支援機関 / 中小企業診断士
代表 **青木孝之**
(昭59 水・漁)
合同会社北大阪KBSC http://solisupport/
〒567・0861 大阪府茨木市東条一・一八・二〇三
携帯 帯 (〇九〇) 三六五・四二二・三三
azaki70427@bscnet.ocn.ne.jp

田丸産業株式会社
代表取締役 **堀田高志**
(昭61 経)
〒550・0011 大阪市西区阿波座一・四・四 タマルビル
TEL (〇六) 653・1666 (代)
FAX (〇六) 654・3140 〇3
URL: http://www.tamaru-ind.co.jp

弁護士
秋山哲郎
(平6 法)
弁護士法人
グラス・オランジュ法律事務所
〒530・0003 大阪市北区堂島一・一・三二
京阪堂島ビル三階
TEL (〇六) 六四七・七六五四
FAX (〇六) 六四七・七六五五
e-mail: akiyama@grace-orange.jp

代表司法書士 **光田正子**
(平17 法)
〒567・0868 大阪府茨木市沢良宜西一・二・二〇
タウンハウス南茨木二・二・二〇二号室
TEL (〇七二) 六六五・六二四六
FAX (〇七二) 六三七・〇三〇七
e-mail: mitsude-masako@hokusui-sa-net.ne.jp

玉置純
(昭51 水・漁)
〒563・0023 大阪府池田市井口堂二・一四・一四 A号
FT AE XL (〇七二) 七六一・一三四六二

北水同窓会大阪府支部
副支部長 **石田浩平**
(昭54 水・食)
〒662・0932 兵庫県西宮市在住
携帯 帯 (〇九〇) 三九九・一三四四八
e-mail: fwg316@nifty.com

北水同窓会大阪府支部
理事 **金子哲郎**
(昭54 水・食)
〒060・0005 札幌市中央区北五条西十一・一・一・二〇一
(帰省先)
〒531・0073 大阪市北区本西一・一・七・三・二・二
携帯 帯 (〇九〇) 三三八・五七・一〇六
e-mail: g0903857106@docomo.ne.jp

脱サラで裁判官を二三年していました。
手作りで丁寧な仕事を心がけています。
弁護士
北川和郎
(昭54 水・漁)
絆法律事務所
〒530・0047 大阪市北区西田町一・七・一北ビル一・一・一
TEL (〇六) 六三六・五一一・〇一
FAX (〇六) 六三六・四七・六三八
e-mail: kakeki@narae.net
HP: https://kizunare.net/

大阪ガス エルム会
諸岡 孝明 (平成2年 法)
山口 哲 (平成2年 法)
竹中 豊樹 (平成3年 法)
北村 芳久 (平成6年 経)
植田 栄志 (平成8年 法)

大阪ガス エルム会
青木 康修 (平成10年 工機)
小林 洋一郎 (平成11年 経)
小松 賢司 (平成17年 工社)
若林 太郎 (平成17年 工機)
山中 麻希 (平成20年 経)

安心と安全の老後をお手伝いします。
小さな会社の特色や技術をサポートします。
弁護士
中西圭太
(昭54 水・漁)
新神戸法律事務所
〒650・0038 神戸市中央区西町三番地 井神戸ビル二階
TEL (〇七八) 五九九・五四二五
FAX (〇七八) 五九九・五四二四
e-mail: takanishi@shinkobe-law.jp

北水同窓会大阪府支部
支部長 **大橋人司**
(昭56 水・漁)
〒567・0044 茨木市穂積台八・一
TEL (〇七二) 六二七・二五三三

北水同窓会大阪府支部
監事 **佐々木雅人**
(昭56 水・化)
〒574・0054 寝屋川市下神田町二九八
FT AE XL (〇七二) 八二六・六三九六

北水同窓会大阪府支部
理事 **佐藤信光**
(昭57 水・化)
〒654・0122 神戸市須磨区道正台
携帯 帯 (〇九〇) 七八八・二二二二

印刷に関することなら
株式会社すばるに
おまかせください!!

各種デザイン、印刷全般の
お見積無料!!

印刷物のサンプルも無料でお届けします。
お気軽にお問い合わせ下さい。

チラシ	ポスター	冊子	名刺
ポストカード	ラベル	封筒	パッケージ

ホームページを
リニューアルしました! /
株式会社すばる

TEL (06) 6661-0775 (代)
FAX (06) 6661-0732
〒557-0014
大阪市西成区天下茶屋1-20-10
e-mail: print@subaru999.com
http://www.subaru999.com

{ 広告 } 同窓生が書いた古代史シリーズⅡ

◎古代日本をユーラシア大陸の歴史の視点から見ると、新しい事実が見えてきます。日本に深く関与した月氏。これまで語られることのなかったエキサイティングな古代日本史に迫ります。



— 目 次 —

- 第1章 海を渡る人々
～月氏は何処から来たのか
- 第2章 陸を駆ける人々
～月氏の故郷に行く
- 第3章 不思議の国、伽耶
- 第4章 倭国をめざす満族
- 第5章 月氏と倭国王権

- 日本の神話はなぜ宮崎日向から始まるのか
- 神武天皇は何処から来たのか
- 伽耶とは何か、新羅の正体とは何か
- 月氏とは何者か。倭国王権とはどのように関わったのか

ユーラシア大陸史の視点からすべての疑問にお答えします

さあ 月氏と共に 2000 年前のシルクロードに出かけましょう
古代史の面白さを満載した一冊です（北大関西同窓会二水会推薦）

* お求めはアマゾン、楽天ブックスなどのネットが便利です。（税込 1650 円）

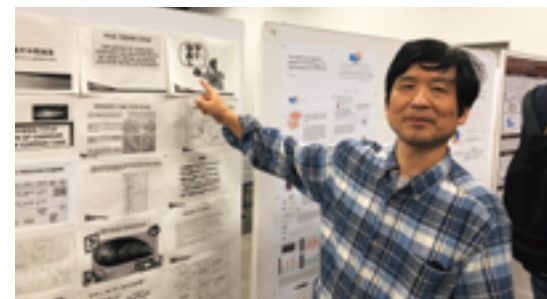
遅れて来た北海道での青春

山脇 啓輔（2019（H31）環境科学院在籍）

初めまして。平成 31 年度博士課程後期環境科学院中途退学の山脇啓輔と申します。

同窓会入会の規定が、北大の卒業、修了あるいは在籍していたものと言う事で今回お情けにより入会させて頂きました。昭和時代の卒業生が大半を占める関西同窓会に於いて、平成あるいは令和卒業の若手が入って来ると期待しておられた方もいらっしゃるかと思います。実は私は 60 歳近くで、社会人として大学院に入学致しました。北大の大学院に社会人として入学出来る事を知ったきっかけは、アメリカへ在住の際に夏休みのバイトでアラスカ州に於いて漁業監視員をしていた時に、アリュシャン列島のダッチハーバーと言う漁港で偶々、北大環境科学院の調査グループと遭遇した事によります。

私はかつて若手の至りで帯広畜産大を途中で辞めた事の後悔の念があり、北海道での失われた学生生活を取り戻さずには一生を終わりとくなくという強い思いに駆られて、環境科学院の研究室の扉を叩きました。当時はアメリカで年 9 ヶ月間の定職を持っていたので、年 3 ヶ月間だけ日本へ帰り 6 年間掛けて博士号を取ろうと言う、今考えると無謀な計画でスタートいたしました。指導教官からも「日本へ帰って来た際にはしっかりと実験して下さいよ。」と檄を飛ばされました。しかしながら約 15 年間程務めた官庁の仕事も予算削減の為レイオフとなり日本に永住帰国する事となりました。



博士課程後期の研究成果の中間発表（筆者）

日本で仕事を見つけるまで、何と恵迪寮の寮生となる光栄に預かりました。自画自賛で寮史で最長老の現役寮生であると自負し、また夜な夜な共同施設から聞こえて来る、太鼓の音に合わせて謳われる「都ぞ弥生」に北大生になったと言う至上の喜びを感じていました。しかしながら寮生活では、事務室に行った際に私の孫程の年齢の寮長に「挨拶くらいしろ!」と怒鳴られたり、自転車泥棒と間違われたりとの老寮生としての散々な失敗談も今では懐かしい思い出となっております。

博士課程の研究では、研究室で 80 歳半ばを越えても情熱を持って研究に打ち込まれる戸倉北大名譽教授に共鳴し、蟹の甲羅等に由来するキチンキトサンの水産養殖現場での応用に関して研究しておりました。社会人学生として会社の仕事が終わってからの実験で思った以上に結果が出ず、指導教官の退職が迫っていた事に対する焦りと三重県の水産試験場で希望する仕事が見つかった事により博士課程は単位修得後中途退学と言う事で惜別の想いで北大を去りました。

今後、何らかの機会で論文博士となれたとしても中退の文字が修了に変わる分けではないので、北大に学士編入あるいは修士課程にでも入り直して正式な同窓生として受け入れて頂きたいと言う気持ちで一杯です。今後とも風変わりな同窓生として宜しくお願い致します。



北大名譽教授戸倉清一先生（左）との記念写真（環境科学院の駐車場）

刀鍛冶志望から民法研究者へ

池田 雄二（2006（H18）法、2008（H20）法学研究科）



私は神奈川県秦野市で育ちました。地元小中学校を卒業後、秦野高校に進学し、1年終了時点で「刀鍛冶になる」と言って中退しました。430人中429位という忘れ難い成績も影響したかもしれません。一方で所属した弓道部と応援委員会は良い思い出です。郵便配達員を経て、同年中に伊勢村正に憧れ、三重県に行きました。しかし不動産屋に相手にされず、住居確保の為、飛び込みで朝日新聞販売店の正社員となりました。所長は良い方で、得難い経験でしたが、仕事が辛く申し訳ないことに半年位で逃げ

てしまいました。この時の両親には感謝しています。翌年度、親の勧めでNHK学園高校に入学し、卒業後、神奈川大学法学部に入学しました。ゼミの竹尾隆教授に研究者志望を伝えたところ、編入学の勧めとご指導を受け、お陰で北海道大学法学部に編入でき、卒業後は大学院で民法を専攻しました。主な指導教員は瀬川信久教授、単位取得退学時は曾野裕夫教授です。初赴任地は帝京大学法学部でした。3年任期付助教のため、2016年に現在の職場の阪南大学に赴任しました。法学部がなく、経済学部ですが、民法等を教えています。関西は報道の影響で怖いイメージでしたが、寧ろマナーが良いと思う事も屡々です。

今後ともよろしくお願いします。



秋の北大風景 写真提供 吉成 久和（昭53文東史）

訳者兼役者で舞台をやりたい

有信 優子（2001（H13）露文）



はじめまして。有信優子と申します。ロシア語翻訳者です。同志社大学、関西大学、大阪公立大学で非常勤講師をしています。生まれは京都で、大阪と東京で少女時代を過ごしました。上智大学外国語学部ロシア語学科を卒業後、北海道大学大学院文学研究科修士課程に進学しロシア文学を専攻しました。北大露文は実にアットホームな素敵な研究室で、素晴らしい先生方、優しい先輩や友人に恵まれました。北大に通った2年

間は本当に幸せな楽しい日々でした。札幌は私の心の故郷です。

私はお芝居が大好きで、演劇同好会に所属しております。2024年4月から、もうすでに計4回、北大会館の会議室をお借りし、演劇の稽古をいたしました。ありがとうございます。深く感謝いたしております。2024年12月末にロシアの現代戯曲を翻訳出版予定です。今、翻訳作業に勤しんでおります。初邦訳となる作品です。よろしければぜひご一読ください。演劇同好会で本作品を上演できたらいいな、と夢見ています。訳者兼役者の舞台が実現しましたら、ぜひ応援してください。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

舞台のカラー写真をホームページでご覧ください（編集）



2024年7月の舞台



2024年4月の舞台（筆者は右から二人目の写真中央）



2024年2月の舞台（筆者は右端）



2023年12月の舞台（筆者は左端）

三津 正人 (1970 (S45) 農工)

聖徳太子の母とされる^{あなほべはしひと}穴穂部間人皇后はペルシャ人であるという説がある。それは名前にある「間人（はしひと）」という字がペルシャ人を指すからである。当時、中国ではペルシャのことをパルシャと発音し、波羅斯と書いているが、そこからペルシャ人のことを波斯（はし）人と呼んだのである。日本ではそのまま波斯人と書くこともあるが、多くは「間人」と書き「はしひと」と呼んでいる。「間人」はマロウドとも読まれ、他所の国から来た人―「異人」と理解される。また間人皇后は孔部間人公主（天寿国繡帳より）とも呼ばれており、公主とは中国では皇帝の娘のことを指すので、間人公主はペルシャ王の娘、ペルシャの姫君という意味になる。その間人公主と用明天皇の間に生まれたのが聖徳太子（厩戸皇子）である。厩戸皇子は上宮太子聖徳王と呼ばれているので聖徳太子と同一と考えて問題ないと思う。「間人」と書かれているだけでペルシャ人と断定することが出来るのかどうかについては異論もあるかもしれないが、穴穂部間人皇后の周りにはペルシャ色が濃厚に出ている。その一つが正倉院に残るペルシャの宝物である。正倉院には聖武天皇、光明皇后の御愛用品のほかに、飛鳥時代の法隆寺から持ち込まれたペルシャの宝物がある。中でも「白瑠璃碗」とよばれるガラス碗はペルシャの王立工房で作られたもので王侯が所持するものであり、無傷のものは他にはない。恐らく間人皇后が持参したものであろう。正倉院にはこのほか幾つものペルシャから来たと思われるものがあるが、当時は法隆寺は崇りの寺であり、これらの宝物は江戸期になってから正倉院の奥深くから発見されたと言われている。

もうひとつは弥勒菩薩信仰である。ここでペルシャと言っているのはサーサーン朝ペルシャの事であるが、サーサーンという名前は建国者アルデシール1世の祖父の名前からきている。祖父はゾロアスター教の大寺院の守護者であったためサーサーン朝ペルシャの国教はゾロアスター教（拝火教）と定められた。弥勒菩薩というのはギリシャ・ローマでは「ミトラース」とよばれた太陽神であり、ペルシャ起源の太陽神「ミスラ」であり、大月氏国クシャーナ朝ではバクトリア語で「ミイロ」と呼ばれた神が大乘仏教と習合して出来た神である。このミイロが弥勒菩薩の語源になったと言われている。そして日本の弥勒菩薩信仰はこの飛鳥から始まっているのである。弥勒菩薩信仰は間人皇后と聖徳太子に深くかかわっている。現存する半跏思惟と呼ばれるスタイルの弥勒菩薩像は殆どが聖徳太子の時代のものであり、有名な中宮寺の半跏思惟弥勒菩薩は間人皇后の寺である。つまり、間人皇后は弥勒菩薩を祀り信仰していたのであり、そのことはペルシャのゾロアスター教の神「ミスラ」を信仰していたということになる。弥勒菩薩信仰はペルシャからはじまることを考えれば、間人皇后がペルシャ起源の神を祀るこ



中宮寺の半跏思惟菩薩像

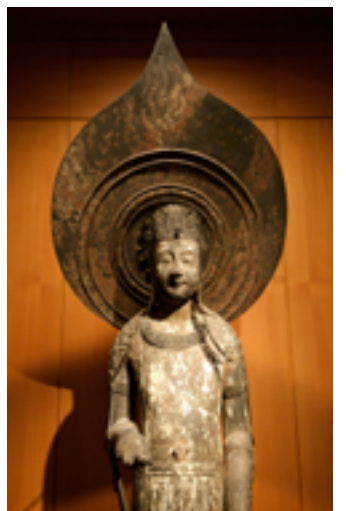
とは果たして偶然と言えようか。サーサーン朝ペルシャ（224年～651年）は5世紀頃からエフタル（白いフン族）の侵攻を受け、突厥（トルコの始祖）と組んでエフタルを滅ぼすが、その後、突厥の侵略により6世紀にかけて苦しい国家経営を余儀なくされた帝国である。その対外戦略は遠交近攻であり婚姻外交であった。そのため6世紀頃は中国の北魏などの東アジアの大国と連携を取り、エフタル、突厥に対抗しようとした。このころおそらく北魏を対象として婚姻外交が展開されたと考えられるが、北魏もまた分裂の時を迎えようとしていたため、当時北魏の支配下にあった高句麗にペルシャ王族の姫が送られたのではないかというのが、私の推測である。しかし高句麗もまた、北魏の後、「隋」の勃興と侵攻により、滅亡へと向かいつつあった。前著「満の国からの渡来人」で述べた如く、高句麗は倭国の蘇我氏と繋がっていたため、ペルシャの姫君は高句麗から倭国に送られたのではないか、という風に私は考えている。丹後半島の間人（「たいざ」と呼んでいる）に間人皇后は丁未の乱（蘇我氏と物部氏の戦い）を避けて避難したと伝えられているが、私はこれは間人皇后が高句麗から丹後半島に到着したことを言っていると解釈している。乱を避けるためにわざわざ丹後半島の先まで行くことは考えにくいし、丹後半島は高句麗の対岸であり、高句麗からの船の多くはこの丹後半島に漂着するからである。

○法隆寺の秘密を握る二体の仏像

間人皇后の宮である中宮寺は現在法隆寺に隣接しているが、もとは500mほど東の中宮寺史跡公園のところにあり、16世紀に現在の場所に移されている。中宮寺という呼び名は葦垣宮と鵜（いかるが）宮と岡本宮の3つの宮の中にあつたので中宮とよばれ、尼寺とされたので中宮寺と呼ぶようになったと言われている。法隆寺には現在、聖徳太子と母の間人皇后の死後作られたと思われる仏像が二体存在

する。一体は夢殿にあった「救世（ぐぜ）観音像」である。もう一つは元は金堂にあった「百済観音像」である。いずれも国内産のクスノキとヒノキを用いた日本で作られた仏像である。私がなぜこの仏像の話をするかという、私はこの仏像は間人皇后と聖徳太子を表したものであると考えているからである。「救世観音像」はアーネスト・フェノロサにより明治になって夢殿で発見されるまで木綿布でぐるぐる巻きに封印された禁断の仏像であるが、この像は生前の聖徳太子を模したものと考えられる。なぜならもし聖徳太子に似ていなければ封印する必要はないからである。聖徳太子とその一族は罪なく百済系氏族に殺されている。中大兄皇子を中心とする百済系氏族は聖徳太子の崇りを恐れ、法隆寺にあった太子の像を457mの布でぐるぐる巻きに封印して夢殿に密閉し、解けば大地震がおきて法隆寺は崩壊するとの言い伝えを遺した。178センチを超える身長は当時の日本人の規格ではない。

もうひとつの百済観音像は現在は法隆寺に安置されているが、もともと法隆寺にあったわけではない。法隆寺第208世管主の高田良信によれば元は中宮寺にあり、中宮寺を現在の位置に移す時に他の多くの寺宝と共に法隆寺に移されてきた、とのことである。この百済観音像はおそらく間人皇后に似せて作られている。中宮寺は間人皇后のために建てられた宮であり尼寺である。祀られる像は間人皇后以外には無い。



百済観音像（穴穂部間人皇后）

八頭身で鼻が高いこの像は、優しい女性の風貌であり、まさに容色端正と呼ぶべきものである。(この像も当時の日本人の体格の規格からは外れたものである。)

観音とは観音菩薩のことであるがゾロアスター教の水の神アナーヒターからきていると言われている。したがって手には水瓶を持つが、この百済観音も水瓶を持っている。アナーヒターは女神であり、従ってこの百済観音像も女性である。

二体の像は聖徳太子とその母穴穂部間人皇后を偲んで、あるいは鎮魂のために作られた像である。(作風からみて同じ仏師の作によるものであろう。) いずれの像もいわゆる仏像の顔ではなく、人間の顔をしている。我々は奇しくも現代に、聖徳太子と間人皇后のご尊顔を拝することが出来るのである。

○間人皇后と推古天皇

羽曳野市の野中寺(やちゅうじ)は聖徳太子建立の48寺院のうちのひとつとされているが、ここには金銅製の半跏思惟菩薩像が存在する。この菩薩像には文字が彫られており「丙寅年の四月に「中宮天皇」が病氣になった時、栢寺の信徒らが平癒を請願して奉納した菩薩像」と書かれている。この丙寅年は666年にあたるとするのが通説のようであるが、私は干支60年戻って606年であろうと考えている。何故ならこの像は聖徳太子に時代のものだからである。諸説あるが野中寺の建立も600年頃と考える。栢の字は狛(こま)の変字であり(もしくは栢の字を高麗の代わりに使ったのであろう。狛の字は蔑視語であり、高麗人は使わない。)、この当時全国にあったコマ寺(高麗寺)の事であろう。蘇我馬子の時代である。— そうしなければ歴史の事実と繋がらない。つまり私の解釈では、606年に中宮天皇が病氣になられた時、高麗人の寺であるコマ寺の信徒らが平癒を願って作った像ということになる。

では「中宮天皇」とは誰の事であろう。いうまでなく間人皇后のことであるが、この当時は天皇=大王ではなく崇敬に値する人

物のことを天皇と呼んだと考えられる。(天皇号は持統帝以降に採用。) 聖徳太子の事を天皇と呼んだ記録もある。

ここで問題は推古天皇の事である。推古天皇は日本最初の女帝であるが、対外的な文献ではこの当時日本が女帝であったという記録はない。日本書紀に書かれていることが事実ならば推古天皇は自ら天皇とは意識していなかったようである。

蘇我馬子は用明帝の没後、崇峻大王を立てたが失敗し、やむを得ず用明皇后である間人皇后を立てたのではないかと。そして聖徳太子を摂政とし、実際には蘇我馬子が政治を行ったのではないかと。そうであればなぜ女帝が登場したのか、その理由も説明がつく。またなぜ中宮天皇と書かれたのかも説明がつく。あくまで私の推論ではあるが。この時代の系図は百済王家が混在しており、本当のところはわからない。推古帝は日本書紀には容色端正と書かれ、美しい女帝であったようである。

日本書紀は百済人の子孫である藤原不比等によって監修されたものである。

蘇我馬子が国政を取ったとは間違っても書くわけにはいかず、そこで登場したのが間人皇后であるので、推古帝が誕生したのではないかと私は考えている。



救世観音像(聖徳太子)

6億年前、地球に巨大大陸があった— Gondwana 大陸の集合・分裂とアジア大陸の成長(後編)

吉田 勝(1961年理学部地質学鉱物学科及び山岳部卒)

Gondwana 大陸の誕生— 11億年前と6億年前の大陸集合事件

周東南極変動帯— 東Gondwana 大陸の誕生とロディニア超大陸

1950年代後半から南極大陸の調査・研究成果が出始め、1960年代後半にはGondwana 大陸片の集合状態の議論に南極のデータが参照されるようになった。そして1980年代には、南極を中心としてインドとオーストラリアが集まった東Gondwana が、南米とアフリカから成る西Gondwana より一足先に形成されたことがわかってきた。

東Gondwana は約25億年前より古い年代を持つ大小の大陸片(クラトン)で構成されており、それらの大陸片の間には約11億年前の造山帯が分布している(図7)。すでに述べたように、造山帯はプレートの衝突境界にできる。造山帯の両側が異なる地質特徴を持つ大陸であれば、両側の大陸(プレート)の衝突がその造山帯を作った

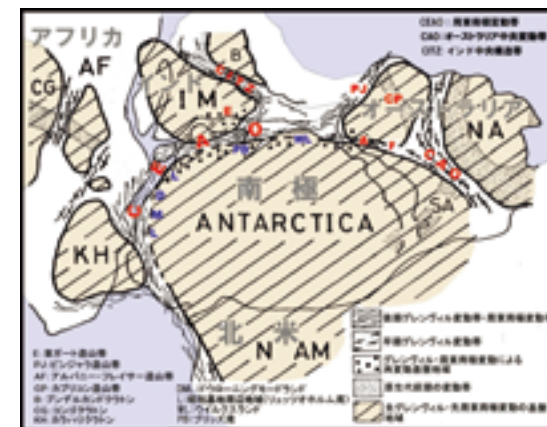


図7. 東Gondwana 大陸の11億年前変動帯の分布(吉田ら, 2006に加筆).

ということである。東Gondwana 大陸における11億年前の造山帯の分布は、東Gondwana の構成大陸片が約11億年前に集合して東Gondwana を形成したことを示している。

ところで、約11億年前の周東南極造山によって東Gondwana 大陸ができたわけだが、同じ頃の造山運動はヨーロッパや北米大陸でもGrenville 変動として広く認められている。これらの11億年前後(13~9億年前)の造山帯は地球上すべての大陸に広く分布しており、この時期には地球上のすべての大陸片が集合した超大陸が形成されたと考えられている。

この推定される超大陸は1990年に米国のマクメナミンらによってロディニア超大陸と呼ばれ、多くの研究者がその名称を使うようになっていく。1990年代以来、地球上の大陸片がどのように集合してロディ



図8. ロディニアの1モデル(ホフマン, 1990)

ニアを作っていたのかを明らかにする努力が続けられて来ており、かなり確からしいモデルがいくつか提出されて来ているが、未だ確定したとは言い難い(図8)。しかし、いずれにしても、東 Gondwana ランドの誕生がこのロディニア超大陸形成事件の重要な一部であることは間違いないのである。
内 Gondwana 変動と周 Gondwana 変動ー Gondwana ランドの誕生

Gondwana ランドは 11 億年前頃より古い 11 個の大陸片(クラトン)と、その間を埋める 7 ～ 5 億年前の造山帯で構成されている(図9)。つまり、この 7 ～ 5 億年前の造山運動によって Gondwana ランドが誕生したというわけだ⁵。Gondwana ランドを作ったこの造山帯はアフリカではパンアフリカ造山帯、南米ではブラジリアン造山帯と呼ばれているが、Gondwana ランド全域について、この時期の変動を全体としてパンアフリカ変動と呼ぶ人が多い。しかし、私は後述の周 Gondwana 変動に対応して内 Gondwana 変動と呼ぶことにしている。

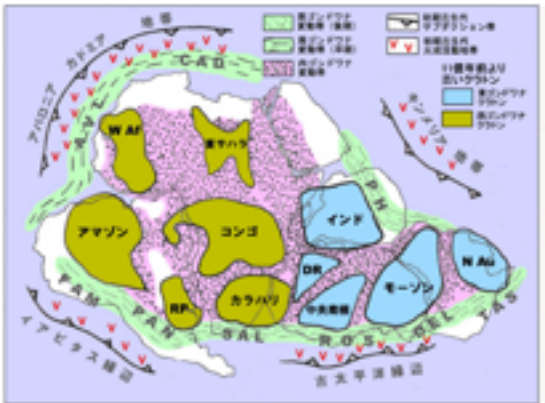


図9. Gondwana ランド内部の内 Gondwana 変動帯(打点域)と Gondwana ランド周縁の周 Gondwana 変動帯(ROS, CAD などの細線明緑色地帯域)(吉田ら, 2019)。

内 Gondwana 変動によって Gondwana ランドの主な陸片がすべて集合した巨大大陸誕生事件の中頃から終期にかけて、6.5 億年前頃から 4.5 億年前にはその巨大大陸の周縁地域(図9)で海洋プレートの沈み込み、縁海、島弧の形成や小陸片の分離や衝突融合、火成活動や変成作用があった。私はこの変動を周 Gondwana 変動、この変動を被った地帯を周 Gondwana 変動帯と呼ぶ。周 Gondwana 変動は Gondwana ランド形成の後期～末期の変動である。

パンゲアの誕生・分裂とアジア大陸の成長

北方巨大大陸ユーラメリカの誕生ーカレドニア造山運動

周 Gondwana 変動期(5 億年ほど前)に Gondwana ランド西縁近くに位置していた北米地塊とバルチカ地塊は、その後南米北西岸沖を北に回って Gondwana ランド北岸沖に移動して来た(図10)。そしてこれらの 2 地塊に加えて Gondwana ランド北縁から分離北上して来た南欧～北米東

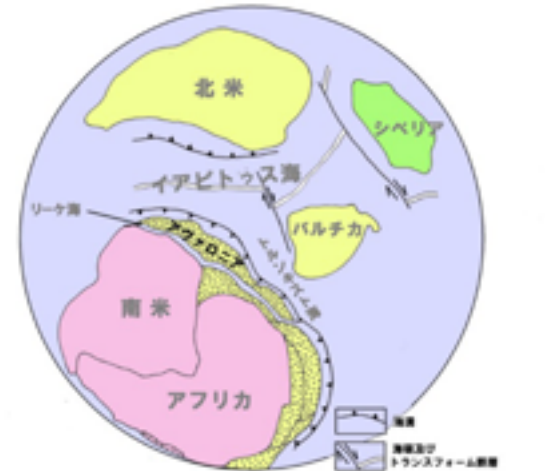


図10 古生代前期の大陸分布(ナンスら, 2012)。打点域は古生代末までに Gondwana から分かれてユーラメリカに融合した小陸塊群の分布域

南縁辺の小陸片群が、4.5 ～ 4 億年前に衝突・合体して北方巨大大陸ユーラメリカ(Euramerica または Laurussia)となった。これらの事件はカレドニア造山運動とよばれている。

Gondwana ランドとユーラメリカの衝突ーヴァリスカン造山運動とパンゲア超大陸の出現

カレドニア造山運動に引き続いて古生代後期 3.3 億年前にはユーラメリカと Gondwana ランドが衝突・合体した。また、その前後 1 億年ほどの間には Gondwana 北縁から分離した小陸片群が北方巨大大陸に衝突融合した。ユーラメリカと Gondwana の衝突に少し遅れて 3 億年前頃には、シベリア地塊がバルチカ地塊へ衝突・融合し、ローラシアを形成した。これによって超大陸パンゲア(図11)の基本的な形が出来あがったのである。このようなローラシアの形成とパンゲアの誕生事件はヴァリスカン造山運動と呼ばれている。



図11 超大陸パンゲアの概念図(ラスト, 1997 に加筆)

パンゲア・Gondwana の分裂ー分裂の形跡と軌跡

約 3 億年前に誕生した超大陸パンゲアは 2 ～ 1.5 億年ほど前に分裂を開始して多数の陸片に別れ、次第に現在の大陸分布が完成していった。分裂は 2 億年前にテチス海が西に広がって北のローラシアと南の Gondwana の間で始まり、1.3 億年前ころからは Gondwana の内部で分裂が始まった。分裂の形跡は洪水玄武岩⁶の噴出やリフト縁辺堆積物⁷で示される。

分裂開始から現在まで約 2 億年間に及ぶパンゲアの分裂とその後の諸大陸塊の移動は、海底の地磁気調査によって明らかにされて来た。

地磁気の逆転: 地球は磁場を持っている。地球磁場の南磁極と北磁極は、それぞれ地理上の南極と北極にほぼ一致している(このような時期を正磁極期と呼ぶ)。しかし、地球の歴史では、地理上の南極が北磁極になり、北極が南磁極になったこと、つまり地球磁場が現在のそれと逆転していたこと(逆磁極期)が数十万年～数百万年間隔で度々あったのである。このような地磁気正逆の時代変化は、現在から古生代の石炭紀初期まで明らかになっており、世界各地で地層や岩石の年代決定に利用されている。そして、下記のように海洋底の年代分布解明に基本的な役割を果たしている。

海洋底の地磁気縞模様 海洋底は主に玄武岩で構成されている。海上を走る船舶などによる地磁気測定によって海洋底の地磁気全磁力分布の概略が調べられているのである。例えば大西洋の中央海嶺付近では、海嶺に平行して正磁極性の地殻と逆磁極性の地殻が帯状になって平行して分布している。つまり、海洋底は中央海嶺に並行する

⁵ 東 Gondwana は 11 億年前に誕生していたので、ここでの内 Gondwana 変動は周東南極変動帯の再活動であろう。南極大陸内部の変動帯の存在は明らかでない。

⁶ 洪水玄武岩とは、洪水のように広大な面積を覆った玄武岩体で、マントルホットブルーンの直接的な影響による火成活動を示す。
⁷ 大陸の分裂は巨大な谷(リフト)の発生から始まる。谷の両側のがけ下には崖の崩壊から始まる特徴的な厚い堆積岩体が形成される。

地磁気正逆の縞模様をなしており、その縞は中央海嶺から離れるにしたがって古くなっているのである。このような海洋底の地磁気全磁力分布とその年代変化は大西洋に限らず他のすべての海洋についても同様である。

すでに説明したように、このようにして中央海嶺で次々と噴出した玄武岩で作られる海洋地殻は、中央海嶺から遠いほど古い年代であり、現在世界で最も古い海洋地殻（プレート）は西太平洋のジュラ紀のものである（図 12）。それより古い海洋地殻は海溝でマントルに沈み込んでしまっていて、地球上には無いのである。

分裂陸片の移動軌跡 大陸の分裂はリフトから始まり、ついにはそこが中央海嶺となり、両側の陸地はどんどん離れて行き、間の海洋には地磁気縞模様が次々と広がって行く。分裂した大陸の移動方向は従って、

その縞模様の帯に直行する方向である。両陸片間の縞模様の個々の帯の幅と年代を正確に測定すれば、両陸片が離れ行く速度やその変化も確定できるということになる。ノートンはそのようにしてゴンドワナランドの分裂過程を時期を追って 8 枚の図で示した（図 13）。

アジア大陸の成長から新超大陸の誕生へ
ゴンドワナランドの分裂は、アジア大陸の成長へとつながっている。アジア大陸では、インド亜大陸の衝突・融合事件のような大陸の拡大・成長事件が新生代末期から幾度もあった。その証拠はアジア大陸の内部に網状に走る多数の造山帯でみることができる（図 14）。

アジア大陸地殻の成長の核心となった地塊はシベリア地塊（クラトン）である。シベリアクラトンは広大な中央アジア変動帯によって西は東ヨーロッパ地塊（バルチ

カ）と、南はタリム地塊—北中国地塊と隔てられている。中央アジア変動帯は末期原生代から前期中生代までの複合変動帯である（図 14 では原生代変動帯は省略した）。全体としてシベリアクラトンから南方に向かって離れるに従って若い造山帯が分布しており、この複合変動帯の中でも南方に向かう大陸成長が認められる。

中央アジア変動帯の南にはタリム—北中国クラトンの陸塊列が分布し、そのさらに南にはテチス複合変動帯がインドクラトン北縁や太平洋沿岸までの広大な地帯に広がっている。テチス変動帯は大小様々の先カンブリア代地塊や古島弧と、その間を埋める古生代～新生代の造山帯から成り、造山帯の年代は一般に南方ほど若い。つまり、ここでも全体として北から南へ次々と陸片が集合・付加したと見ることができる。

現在明らかにされているマントル熱対流の解析からは、アジア大陸下に巨大な下降流（スーパーコールドプルーム）があり（図 5 参照）、原生代末期から新生代まで、次々と海洋地殻を飲み込み、それに繋がる背後の大陸地殻や島弧をアジア大陸に合体させてきたことが明らかにされている。従って日本列島を始めとするゴンドワナ起源の小陸片群は、いずれはすべてアジア大陸に衝突・融合する運命にある。

太平洋のプレートの動きは延々と、このスーパーコールドプルームに支配されて来たのである。従ってアジア大陸の成長は未だ終わっていない。プレートの移動速度（7～10cm/yr 程度）からは 5000 万年ほど後にはオーストラリアが、その 2 億年ほど後には北米大陸がアジア大陸に衝突・融合し、新たな超大陸が誕生すると想像できるのは楽しいことである（図 15）。

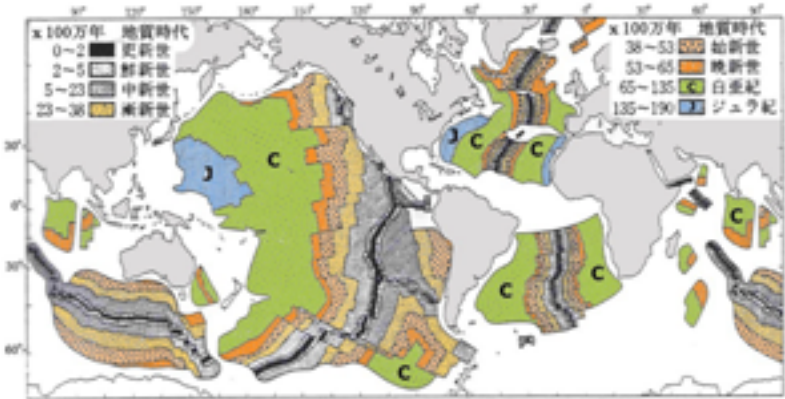


図 12. 世界の海洋底の年代分布図（ピットマンら, 1974 から編集）

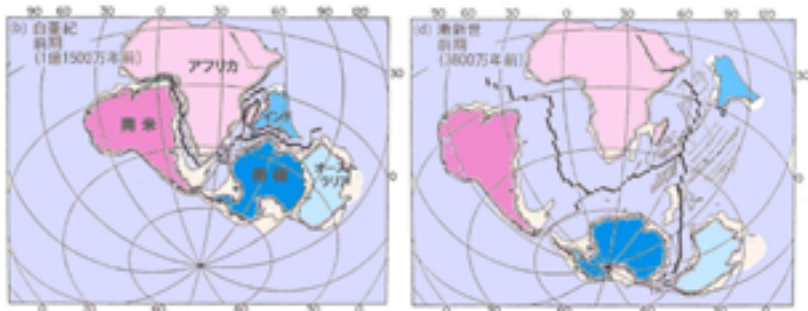


図 13. ゴンドワナ大陸片の分裂・移動の様子（ノートン, 1982 の一連の図から抜粋）

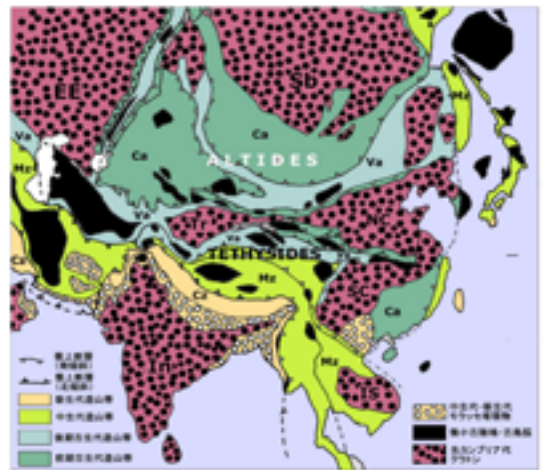


図 14 アジア大陸の地体構造（丸山・酒井, 1986 に加筆・改変）。Ca: 前期古生代造山帯（カレドニア造山帯）、Cz: 新生代造山帯（アルプス-ヒマラヤ造山帯）、Mz: 中生代造山帯（インドシナ造山帯及び白亜紀造山帯）、Va: 後期古生代造山帯（ヴァリスカン造山帯）。

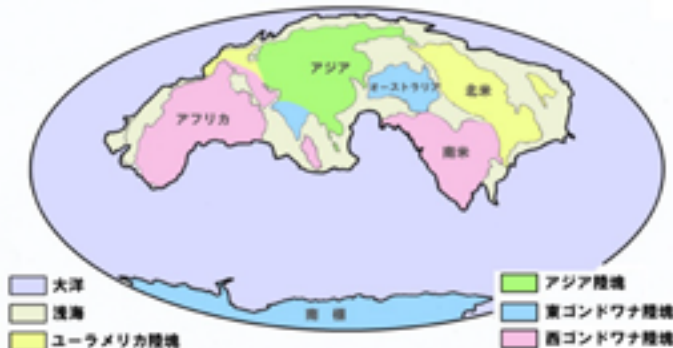


図 15. 2 億 5000 万年後の大陸分布想像図（ウィリアムズとニールド, 2007 に加筆）

八田 方良 (1977 (S52) 農・農)

今回の第28回歴史ウォークは、2024年4月2日、JR 嵯峨嵐山駅改札口前に集合、北大同窓生関恵氏が経営している発酵食堂カモシカに寄って店内の見学、昼食の弁当を受け取り、渡月橋、天龍寺を巡るということで開催されました。参加者は9名、八田は初参加でした。

いつも前田さんにお世話になっていますが、今回もコースの選定、みなさんへの案内、出欠確認、コースの資料作成、当日の案内等々大変お世話になりました。

また、本日の参加者の松下さんは小さいころにこのあたりに住んでいたことより、幹事の前田さんとともに松下さんにも誘導していただき、お二人の案内に従って散策しました。

①発酵食堂カモシカ

まず、訪れたのが、発酵食堂カモシカです。お店は嵯峨嵐山駅渡月橋とは反対側の北口からすぐ、人通りも静かなところでした。

関恵さんは北海道大学経済学部を2000

年に卒業後、海外留学、コンサルティングの会社で勤務後、京都に移住、発酵食を台所に取り戻す♪というビジョンと、『命は命で元気になる』～発酵食を台所に取り戻す♪～という世界観のもと、2014年に発酵食堂カモシカを起業、発酵専門のカフェレストランと物品専門店を運営し、オリジナル商品の自社製造をされています。

昨年12月の三金会では「命は命で元気になる Girls be ambitious」というテーマで発酵食について講演いただきました。その発想の原点は、交換学生としてスウェーデンに行って、現地の福祉の現場を調査したことにあるということでした。

関さんには忙しいところ、お店の案内をしていただき、製品についてもお伺いしました。お話しを伺っている間にもお客さんが来られ、麴納豆やドレッシングなど発酵食品を色々購入していかれました。

本日の昼食「カモシカのり弁当」を購入しました。お店を見学をしていると、お

昼の予約をしていたお客さんが来られました。お客さんは北大1985年卒業で恵迪寮にいて、最後の戦いをしたと話していましたが、カモシカが北大卒の関さんのお店とは全く知らず、おいしいお店ということで訪れたそうです。恵迪寮出身の植松さんと色々話をしていますが、立命館大学で先生をされている山口さんでした。11:50にカモシカを出発。



カモシカで買い物、弁当を調達 写真の奥が嵯峨嵐山駅

②渡月橋

発酵食堂カモシカを出発し、渡月橋に向かいました。再び嵯峨嵐山駅北口に戻り、南口を背にゆっくりと歩いていきました。大変多くの外国人観光客が、我々同様に嵯峨嵐山に向かっていました。桂川の川岸に着くと右手に渡月橋が見えてきました。川岸に沿って少し歩き渡月橋に到着です。嵯峨嵐山駅からは徒歩約10分観光客がびっしりと往来していました。

渡月橋までの通り沿い、特に嵐電嵐山駅から渡月橋北側のたもとまで土産物店や飲食店がずらり、観光気分を盛り上げるわらびもち、ちりめん細工館、和菓子の店等々あります。

お店に入ろうとする方々の列や食べ歩きをしている人たちもいます。人力車も走っています。

渡月橋は嵐山を代表する観光名所で嵐山といえば、渡月橋の風景を思い浮かべます。桂川左岸(北側)と、中州である中ノ島公

園の間にかかる橋です。桂川に架かる長さ155mの渡月橋は嵐山のシンボルとなっています。

渡月橋の名の由来は、鎌倉時代に亀山上皇が橋の上を月が移動していく姿を眺めて「くまなき月の渡るに似る」(月が橋を渡るように見えた)という感想を述べたことからだそうです。桜の季節は勿論、新緑、紅葉、雪など、四季の移ろいととも異なる顔を見せてくれます。渡月橋に架かる川は大堰川といい、その上流は保津川、下流が桂川と呼ばれているそうです。平安時代の貴族にも好まれた風光明媚な嵐山であり、渡月橋の周辺には今回訪れた天龍寺がそうですが、野宮神社、常寂光寺、二尊院、大覚寺など由緒あるお寺や神社が点在しています。天気が良かったので、川にはボートがいっぱい浮かんでいて、川から桜を眺めていました。保頭川下りの船も着船します。



渡月橋を渡る

③嵐山公園(中之島地区)で昼食

渡月橋を渡り、嵐山公園(中之島地区)でカモシカのり弁当で昼食をとりました。自家製ピクルス、季節の漬物、ぬら漬、甘酒ラー油、麴納豆をお揚げさんで包んだおかず、鮎魚おひたし、甘酒ドレッシングサラダ、鮎魚醬平飼いたまご焼き、へしこのふりかけとオリジナルの発酵食品が使われていて、海苔をぐるっと巻いたごはんもしっかりと入っていました。食べ応え



左から(敬称略) 田中貞夫(S44 農生) 深井敬三(S40 工建) 松下秀之(S54 農化) 植松高志(S48 法) 北口久雄(S41 理物) 前田直臣(S43 理高) 三段崎俊彦(S34 農化) 三上陽一(S37 理物) 八田方良(S52 農農) (筆者)の9名

のあるおいしい弁当でした。食後、川辺のほうや、山の桜を眺めてみたりしていました。ゆったりと広い地区にいるのか、人の多さは気になりませんでした。

④天龍寺

13時過ぎに出発し、松下さん、前田さん引率のもと、再び渡月橋を渡り、左折、川沿いに人込みを避けて天龍寺に向かいました。13時半頃に到着。



昼食を終え、再び渡月橋を渡り、天龍寺へ

法堂は講堂参拝休止日、法堂の天井に描かれた「雲龍図」は残念ながら観ることができず、次回のお楽しみとなりました。時間をかけてゆっくりと庭園を観て回りました。

庭園(曹源池・百花園)の拝観料は 500 円。各自思い思いに庭園を見学しました。

天龍寺は臨済宗天龍寺派の大本山の寺院で開祖は足利尊氏、開山(初代住職)は夢窓疎石です。足利将軍家と後醍醐天皇ゆかりの禅寺として京都五山の第一位とされてきており、ユネスコ世界遺産「古都京都」の文化財で、嵐山や渡月橋、天龍寺の西側に広がる亀山公園などもかつては境内内にあったとのことでした。

多宝殿前の春の「しだれ桜」と嵐山、亀山、小倉山の風景を背景に取り入れた池泉回遊式の「曹源池庭園」には多くの方々が見入っていました。

庭園は広く、ソメイヨシノ、枝垂桜、山桜だけではなく、ツツジ、木瓜(ボケ)な

ども、咲き乱れていました。庭園を巡るには、庭園に入って曹源池を左に回って望京の丘への登っていくコースと右から大方丈を通っていくコースと主に2つのコースがあります。わたしは枝垂桜が下に見える望京の丘に登っていくコースで散策しました。その見下ろす景色は、お話し通りとても美しく、しばらくたたずんでいました。三段崎さんは外国の家族と話をされていました。

14時半ころに曹源池の入口あたりに集合、嵯峨嵐山駅へ戻ろうということになりましたが、天龍寺北門から出ると、竹林の小径を通って竹林を観ながら戻ることができたので、竹林を回って帰ろうということになりました。



三段崎さん、外国の観光客とお話し



曹源池

⑤竹林の小径

嵐山観光では外せない絶景スポットが「竹林の小径」です。天龍寺の北門から出れば、竹林にすぐ到着。笹ずれの音やマイナスイオンに包まれる“癒やし”のひとつが過ごせました。

野宮神社から天龍寺北門を通り大河内山荘へ抜ける約 400m の道で、手入れされた竹林が道の両脇に続き、一年を通じて壮大な風景が楽しめます。好きな時間に無料で散策が可能です。竹林の小径でも人力車が通っていました。

竹林の小径の中に、『源氏物語』にゆかりのある野宮神社が佇んでいます。縁結びや子宝、学問の神様といわれています。正面に建つ黒木鳥居は、クヌギの樹皮を剥がさずに使用した日本最古の鳥居様式。祈りを込めてさすると願い事がかなうとされる神石(亀石)や絵馬、お守りなどが人気だそうです。

時代劇の名優「大河内傳次郎」の大河内山荘には時間の関係で寄りませんでした。



竹林の小径を進む

竹林を通って嵯峨嵐山駅へは、色々な方に教えてもらいながら、15:15 頃に到着しました。北口さんは嵐電の嵐山駅から帰るということで、途中で別れました。

嵯峨嵐山駅付近で打ち上げをしようとしたのですが、適当なお店が見つからなかったため、JR 京都駅の地下の居酒屋で打ち上げをやるということになり、8 名は嵯峨嵐山駅から JR に乗りました。

⑥ JR 京都駅地下の居酒屋で打ち上げ

JR 京都駅までの車内でも結構混んでいました。京都駅には 16 時くらいに到着し、駅地下の「焼き鳥屋 鳥せい」で打ち上げをしました。カモシカののり弁当がしっかりと、お腹にありましたので、焼き鳥ちょっとに飲み物で 2 テーブルに分かれて打ち上げになりました。卒年や講座、卒業後や現在の生活等話し、わいわいとやっていました。あっという間に時間が過ぎ、宴もたけなわではありましたが、17 時半ころに解散しました。大変楽しい 1 日でした。



JR 京都駅地下での打ち上げ風景

本日の参加者 9 名の中で、わたしは松下さんの次、2 番目の若手でしたが、みなさんしっかりと歩き、また、しっかりと飲まれていました。

さすがに歴史ウォークに参加されるメンバーだと恐れ入りました。

二水会・三金会の講演一覧（2024年3月～2024年8月）

二水会・三金会連絡担当 藤田 久美（1975（S52）文哲）

北大大会館で毎月開催される二水会（第二水曜日）と三金会（第三金曜日）では、識者に特別講演を頂きその後歓談して同窓生相互の親睦を深めています。遠隔地の方もご参加いただけるよう Zoom での開催も併用しております。

二水会

- 2024/3/13 前田直臣（S43 理）
前田正名一竜馬が託した男—
- 2024/4/10 吉田 勝（S36 理）
6億年前、地球に巨大大陸があった
- 2024/5/8 高井保秀（S50 水）
ちょっと変わった！私の健康法
- 2024/6/12 三津正人（S45 農）
月氏の末裔 ユーラシア大陸史の中の古代日本
- 2024/7/10 森田好博（S59 水）
南極の自然等、現地から行った授業の内容の紹介
- 2024/8月 夏休み休会

三金会

- 2024/3/15 向井 猛（S60 獣）
動物園と動物行政
—私の歩んで来た道—
- 2024/4/19 近藤武憲（H06 経）
企業教育のトレンドと課題—パナソニックの事例を織り交ぜながら—
- 2024/5/17 楨本 愛（H11 看護）
水素を使用した農業の可能性
- 2024/6/21 初宿（しやけ）成彦（H3 農）
大阪のクマゼミの謎
- 2024/7/19 波多 勇（S43 農）
メンタルって大事！—ストレス社会と人生 100 年時代を生きる—
- 2024/8月 夏休み休会



高井さん（前列中央）を囲んで



初宿さん（前列左から 2 人目）を囲んで



近藤さん（後列左から 5 人目）を囲んで



三津さん（右から 6 人目）を囲んで

2024年4月三金会

企業教育のトレンドと課題 ～パナソニックの事例を織り交ぜながら～

近藤 武憲（1994（H6）経済）



平成 6 年経済学部卒の近藤武憲と申します。大学を卒業して 30 年。この度、ご縁を頂きまして、4 月 19 日の三金会で「企業教育のトレンドと課題」というテーマでお話させて頂きました。

まず、冒頭、私のジェットコースター的な波乱万丈の人生と北海道との思い出を、写真等も使いながらご紹介。そして、コロナの影響等 世の中や個人の生き方・働き方が激変する中、企業教育がどう変わっているのか！パナソニックの事例も織り交ぜ

ながら、ご説明させていただきました。

日本の大手企業の多くは「ジョブ型」へ舵を切っていますが、私は、日本人の気質には合わないと思っています。もちろん、個人や仕事自体に焦点をあてる事は間違っているわけではありません。ただ、ジョブ型に寄りすぎると、日本の企業の強さの源泉の“チームワーク”や“団結力”が失われていく危険があるような気がしています。

最後に、松下幸之助の「道」という言葉を引用し、「自分しか歩けない自分だけの道」について、お話させて頂きました。今までの知見・知識を活かし、大志を抱いて、人や社会のお役にたてるよう、歩んでいきたいと思っています。

■脱走って・・・

ひと雲で雲うた・・・
ジェットコースター的な人生・・・

●新卒一括採用	人生に振り回される	●新卒一括採用	人生に振り回される
●中途採用	自己選択	●中途採用	自己選択
●新卒一括採用	自己選択	●新卒一括採用	自己選択
●中途採用	自己選択	●中途採用	自己選択

■人として、あ・る・を・持・つ

【歴史上】
織田信長（天下布武）
坂本龍馬（日本を今一度 洗濯し直し）

【ビジネス】
稲盛和夫（西行、利根行（たのしみ）を継続）
柳井 正（いちばん売力のある人、社長ではなくお客様）

【著名人】
大谷翔平（人生が夢をやるんやない、夢が人生をやるんだ。）
吉田英和（『戦国無双』に出演、「ユージンなんかに負けんか！」）

Boys, be ambitious!
少年よ！
大志を いだけ！

北海道大学

■これっていいの??? 日本企業の倒産すべき道!

【企業のトレンド】

- 人的資本管理
- タレントマネジメント
- テレワーク
- 多様性
- 自律
- リスキリング
- DX人材の育成
- サブスタンス教育

●組織より個人に焦点を...
●多様性、個性重視、自律型...

「組織、チームワーク、人の繋がりを...」
（日本の企業は...）
（日本の企業は...）
（日本の企業は...）

本当にそれでいいの？

原点目標！
「人」と「組織」の両輪に焦点を！

- 人：人望・徳・才・力
- 組織：組織・システム・文化・風土

「経営理念」

■自分しか歩けない自分だけの道

▶自分しか歩けない自分だけの道
（使命感を持って）

人や社会に役立つため、今までに培ってきた「知見・知識」で、
人の繋がりの中で、新しい価値（見過ごされていた価値）を見出す

道

ちょっと変？私の健康法

高井 保秀（1975 (S50) 水）



私の無手勝流の健康法は、自己免疫力を向上させるやり方です。食事・運動・睡眠のすべてにおいて免疫力を落とさない、上げていこうという方法です。特に食事では野菜を多く摂り、加工食品を少

なくする。腸の細菌が喜ぶような食べ物を多く取り入れる。寝るときは必ず薄手の腹巻をするなど、腸内細菌のことを慮る生活をしています。運動においては貯筋活動と柔軟運動。片方 500 g のアンクルウェイトを足首につけての歩行を、20 年間続けています。

しかし、何より大切なことは心について

の面になります。『人生二度なし』の言葉があります。「自分が生かされている理由は？」「自分の本当の使命は？」私たちはこの世に生を受け、多くの人の愛や助けなどの恩を受けて生かされてきました。このことを考えますと自分が受けた恩は、次の世代に恩送りする必要があります。この事を強く想い、実行することで身体の内から大きな熱いものが湧きあがってきます。

このエネルギーこそが生きる力、活力になります。『いま、ここ、自分』の気持ちを常に抱き、今やる、ここから始める、自分が率先する。健康も人を幸せにすることも全て、思い立ったらすぐに始め、行動することが肝要です。恩を感じ、その徳に報いる。小さな努力をコツコツと積み上げる。この想いと行動こそが、健康になる秘訣だと考えています。

大阪のクマゼミの謎

初宿 成彦（1991 (H3) 農）



クの中心部にはセミは全くいないらしいの

梅雨明けが近くなると公園などで鳴きだすクマゼミ。東京はミンミンゼミやアブラゼミなどおとなしいセミが多いほか、パリやニューヨーク

で、大阪は世界一セミの囂しい街かもしれない。

そんな身近な昆虫のひとつだが、生態面でわかってないことも多かった。そこで勤務していた大阪市立自然史博物館に集まるナチュラリストの市民らとともに、広く調べる活動を行なった。その結果、網室の飼育で卵から 8 年目に最も多くの成虫が出現したこと、とある公園内の抜け殻調査でも約 8 年周期の増減が示されたこと、サインペンで印をつけた 5,000 匹のうちの 1 匹が 1 か月後に生きて見つかったこと、などクマゼミの生態をよりよく

知ることができた。

シチズンサイエンスはその後も継続している。桜開花などを除いて 2020 年に中止となった気象台の生物季節観測のうち、クマゼミ初鳴については現代風に X

や Facebook などの SNS を用いた記録に着手している。2024 年は 7 月 5 日と予想したが、その結果は如何に？



南極の自然等、現地から行った授業の内容の紹介

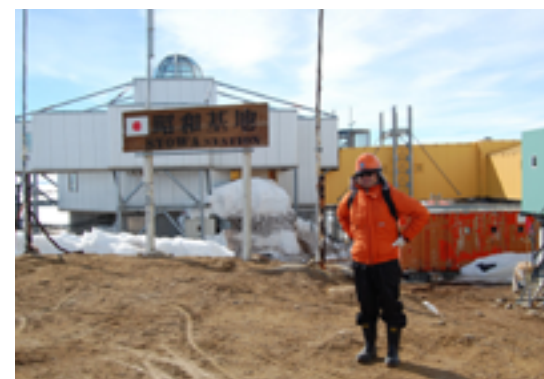
森田 好博（1984 (S59) 水）



私は 2009 年に始まった国立極地研究所の教員南極派遣プログラムに応募し、第 51 次南極地域観測隊に同行させていただいた高校教員です。当時奈良高校に勤務し、休日には近隣の関西量子科学

研究所「きつづ光科学館ふおとん」にて子供たちに演示実験をする科学ボランティアをしておりました。昭和基地では南極観測のお手伝いをしながら、衛星通信で日本科学未来館等の子供たちに「南極授業」を実施しました。

その頃は、勤務校の生徒達と「CSSN プログラム」に挑戦してカリフォルニアの高校と「宇宙」をテーマとした共同研究をする傍ら、NASA の JPL で講義を受けたり、ロボット研究会を立ち上げてロボカップ Jr のサッカー部門で国際大会に駒を進めたりしていました。またシドニー大学の Harry Messel international science school にも日本の代表生徒達を 2 回にわたり引率、指導など、科学を通したチャレンジを重ねてきました。昨今、教員を目指す大学生や院生の方々が減少していることが喫緊の課題としてはありますが、今も生徒たちに極地での観測の意義や理科教員の魅力を紹介することをライフワークとさせていただいております。



昭和基地にて



南極の暮色

総長一行が英国エジンバラ大学を訪問

2月19日（月）、主として獣医学部・獣医学院・国際感染症学院で学生交流を行ってきた、英国エジンバラ大学を寶金清博総長一行が訪問しました。エジンバラ大学は英国大学研究評価（Research Excellence Framework：REF）で9割以上の研究活動が世界最高峰と評され、特に医学・獣医学において評価の高い大学です。本学では2018年より「国際獣医師人材を育成する獣医学教育世界展開プログラム」に係る学生の相互派遣を行ってきたほか、同大学地球科学院、脳科学研究センター、細胞生物学研究所、医学研究所との研究連携が生じています。

本学から寶金総長、農学研究院の岩渕和則教授・総長補佐、人獣共通感染症国際共同研究所の鈴木定彦教授（卓越教授）、公共政策大学院の山崎幹根教授・総長補佐、秦 絵里国際部長、国際連携機構の植村妙葉学術専門職の6名が、同学執行部、王立（ディック）獣医学部、ロスリン研究所、生物科学部、地理科学部、理工学部を訪問し、研究者との打ち合わせを行いました。

プロボストのキム・グラハム教授、国際担当副学長相当のアラン・マッケイ氏との会談では、獣医連携についての意識が示され、同学の欧州研究大学連携と過去10年で様変わりした国際連携地図、海外キャンパスを持たずとも同等程度の国際性と研究成果を戦略的連携先との協働から得られる

という自負、スコットランド政府及び地域コミュニティからの同大学への求めと研究イノベーション戦略、社会的インパクトの創出に係る研究大学への期待、政府の各種評価に対応する事務的負荷等、幅広い話題が語られました。

王立（ディック）獣医学部には学生交流のみならず、本学獣医学教育が、2019年12月に欧州獣医学教育機関協会（European Association of Establishments for Veterinary Education：EAEVE）による認証を取得する際にも協力を得ています。今般は、リサ・ボーデン獣医学部長、ジェイン・ホープ教授（免疫学）、国際担当のアンディ・ホプカー博士に迎えられ、ニコラ・アーンショウ博士から両校の学生交流について、ジェフ・シム教授から国際農業・食品システム学院について、アレックス・コービシュリー博士から同学獣医教育プログラムについて、それぞれ紹介がありました。本学・鈴木教授からは、人獣共通感染症国際共同研究所とワクチン研究開発拠点の説明があり、特にロスリン研究所のマーク・スティーブンス教授（微生物発病学）と今後の共同研究シーズを探ることとなりました。

臨床脳科学センターのジョアナ・ワードロウ教授、ポール・ブレナン博士からは、脳外科手術の見学を含む学生来訪を歓迎する旨が示されました。英国バイオ炭研究センターで、温室効果ガス排出量ゼロを目指すオンドレイ・マシエク教授、ミトコンドリア生物学のアヒム・シュナウファー教授、理工学部の国際担当教員であるニール・ロバートソン教授との会談も経て、両校の共通の研究関心テーマの多さ、連携の可能性を認識する訪問となりました。

（国際連携機構）

北大時報 No.840 / 令和6年（2024年）3月



北大卒のマシエク教授と

札幌キャンパスが自然共生サイトに認定

札幌キャンパスは、3月18日（月）に、生物多様性の保全に貢献している区域として、環境省より「令和5年度後期 自然共生サイト（以下「自然共生サイト」）^{*1}」に認定されました。

札幌キャンパスは約177haの広さを誇り、その自然の豊かさから市民の憩いの場にもなっています。今回、札幌キャンパスのうち建物が集中して建設されている範囲を除いた約126haが「自然共生サイト」に認定され、3月26日（火）、環境省北海道地方環境事務所にて認定証授与式が行われ、横田 篤理事・副学長、農学研究院の愛甲哲也教授・総長補佐らが出席しました。本学としては、令和5年度前期に認定を受けた雨龍研究林に続き、2カ所目となります。

今回の自然共生サイト認定は、「キャンパスマスタープラン2018」において、豊かな生態系・緑地の維持と高度な教育研究活動が両立するサステイナブルキャンパスの理念のもと、札幌キャンパスの生態系・緑地の保全と創出が謳われ、その持続的な保全と管理に向けて令和2年2月に策定された「生態環境保全管理方針」に基づいて、キャンパスの生態系や緑地の保全・管理・モニタリングを行ってきた成果によるものです。

今後、自然共生サイト認定区域はOECD^{*2}国際データベースに登録される予定であり、30by30^{*3}目標達成に直接的

に貢献し、2030年までの生物多様性に関する新たな世界目標である「昆明・モンリオール生物多様性枠組」に寄与することとなります。

本学は、世界課題の解決や地域への貢献に向け、知的資産及び物的資産を活用し、30by30目標達成への貢献はもちろん、気候変動対策と生物多様性保全（ネイチャーポジティブ）の両立に向けた統合的なサステイナビリティの推進に引き続き取り組みます。

（サステイナビリティ推進機構）

（参考）

令和5年度後期「自然共生サイト」認定結果について（環境省報道発表資料）https://www.env.go.jp/press/press_02789.html 自然共生サイト「北海道大学札幌キャンパス」詳細資料（環境省自然共生サイト認定サイト一覧）https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/documents/nintei/R5second_01_HokkaidoUniversity_SapporoCampus.pdf

^{*1} 自然共生サイト…民間の取組によって生物多様性の保全が図られている区域を国（環境大臣）が認定した区域。

^{*2} OECD…Other Effective area-based Conservation Measures の略。国立公園などの保護地域以外で生物多様性保全に資する地域。

^{*3} 30by30…2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする国際的な目標。

北大時報 No.842 / 令和6年（2024年）5月



自然共生サイト「北海道大学札幌キャンパス」の認定区域

学生向けシンポジウム「北海道のGXと経済をつなぐ未来とは」を開催

GX・金融コンソーシアム「Team Sapporo-Hokkaido」とサステナビリティ推進機構は5月10日（金）、共催で学生向けシンポジウム「北海道のGXと経済をつなぐ未来とは」をクラーク会館及びオンラインで開催し、会場・オンライン合わせて507名が参加しました。

シンポジウムでは、町田隆敏札幌市副市長の開会挨拶、瀬戸口剛理事・副学長の挨拶があった後、DNV ビジネス・アシランス・ジャパン株式会社プリンシパルの金留正人氏が、「北海道のGXと経済をつなぐ未来とは」と題して基調講演を行い、今後社会に出ていく学生たちが、あるべき未来（≡ ゴール）を見据えて何を「すべき」かを考え、様々なタイプの人々と価値・信念を受け入れ合い、実現に必要な知識とスキルを身に付けて行動することで、GXと経済をつなぐ未来をつくることになる、との説明がありました。

続いて「GXとスタートアップがつくる北海道の未来」をテーマにパネルディスカッションを行い、NPO 法人 ezorock 代表理事の草野竹史氏、Beyond Next Ventures 株式会社投資部門担当の梁哲治氏、北海道庁経済部ゼロカーボン推進局

ゼロカーボン推進監の田中 仁氏、金留氏の4名が登壇しました。モデレーターは工学研究院の石井一英教授が務め、会場参加者に挙手を求めたり、Q&A など参加者オンライン視聴者との双方向コミュニケーションができる Web サービスの Slido を活用するなどして、視聴者参加型で進行了しました。

パネラーからは、使われなくなった釣り堀で小水力発電する取組の紹介、世界の温室効果ガスの約4分の1が農林水産関連から排出されていることからアグリ・フードテックが注目されていること、及びディープテックが世界を変えうる状況になっていることなどが紹介され、参加者・視聴者からの質問をもとにディスカッションを行いました。

最後に、環境省北海道地方環境事務所の牛場雅己所長が閉会挨拶を行い、本シンポジウムは閉会しました。

サステナビリティ推進機構は、今後も Team Sapporo-Hokkaido の活動を通じて、北海道のGXの推進に貢献してまいります。

（サステナビリティ推進機構）

北大時報 No.843 / 令和6年（2024年）6月



パネルディスカッションの様子

北海道大学関西同窓会 2024年9月～2025年4月スケジュール

	9月		10月		11月		12月	
土曜日	7	(一社)理事会	5	(一社)理事会	2	(一社)理事会	7	(一社)理事会
日曜日	8		6	琵琶湖ジンパ	3		8	
水曜日	11		9	二水会	6		11	二水会
金曜日	13	三金会	11		8		13	
土曜日	14	札幌農学同窓会 関西支部理事会	12		9	札幌農学同窓会 関西支部理事会 文楽鑑賞会	14	札幌農学同窓会 関西支部理事会
火曜日	17	第四回役員会	15		12		17	第一回役員会
水曜日	18	二水会	16		13	二水会	18	
金曜日	20		18		15	三金会	20	三金会
土曜日	21	北水同窓会月例会	19	関西同窓会総会 講演会懇親会 札幌農学同窓会 秋季講演会 札幌農学同窓会 関西支部理事会	16	北水同窓会月例会	21	北水同窓会月例会
木曜日	26		24		21		26	北大会館休館
土曜日	28	北大ホームカミングデー	26		23		28	
火曜日			29		26		31	北大会館休館
土曜日					30	天王寺動物園見学会		
		食品産業エルム会 会報91号発行		食品産業エルム会 北大進学相談会 歴史ウォーク		食品産業エルム会		食品産業エルム会 校友会 クリスマスパーティー

	1月		2月		3月		4月	
水曜日	1	北大会館休館					2	
木曜日	2	北大会館休館					3	
金曜日	3	北大会館休館					4	
土曜日	4	北大会館休館	1	(一社)理事会	1	(一社)理事会	5	(一社)理事会
水曜日	8		5		5		9	二水会
土曜日	11	賀詞交換会 札幌農学同窓会 関西支部理事会	8		8	札幌農学同窓会 関西支部理事会	12	札幌農学同窓会 関西支部理事会
水曜日	15		12	二水会	12	二水会	16	
金曜日	17	三金会	14	三金会	14		18	三金会
土曜日	18	北水同窓会月例会	15	札幌農学同窓会 関西支部理事会 北水同窓会月例会	15	北水同窓会月例会	19	北水同窓会月例会
火曜日	21		18		18	第二回役員会	22	
土曜日	25		22		22	三金会	26	
		校友会理事会		食品産業エルム会		会報92号発行		食品産業エルム会 歴史ウォーク

入退会者情報

総務部長 福井 毅（1980（S55）理生植）

会報90号（2024年3月1日現在集計）以降、2024年9月3日までに、物故者11名、退会申し出等による退会者は13名、住所不明等による退会取り扱い者は35名、入会者は9名でした。亡くなられた皆様のご冥福をお祈り申し上げます。

また、退会された方々のこれまでの同窓会へのご支援・ご協力に感謝申し上げます。

物故者

村上 龍一（S50 法）、山田 正一（S46 農化）、北村 昭男（S44 工衛）、田川 朋尚（S45 工土）、新沼 喜久夫（S43 理高）、前田 政範（S40 農経）、近藤 博之（S28 法）、岡田 正博（S59 歯）、鉄本 邦雄（S29 水漁）、武川 恒也（S43 理高）、宮田 勝次（S39 経）

入会者

有信 優子（H13 文独（修））、青沼 仁志（H10 理生（博））、山脇 啓輔（R01 環境（博））、水谷 潤（S61 農林産）、小山 魁人（R06 工総化（修））、池田 雄二（H20 法（修））、吉武 志江奈（R02 獣医）、安藤 伸（H02 工金（修））、石野 良純（S61 薬（博））

（敬称略 受付順）

編集後記

同窓会会報広告を担当しています。広告掲載継続のお願いを発刊前にメールでお伝えしていますが、同窓生も高齢化が進み広告収入の減少が見られます。新規の広告主の参入を期待します。
井上 和男 (S46)

「北大愛」をさらに深める「7大戦」について記します。今年の第63回大会の主管は名古屋大学。私は先日「応援団現役激励会」に駆けつけ「永遠の幸/都ぞ弥生」を謳ってきました。7大戦は応援団先輩の阿竹宗彦氏がフロンティア精神を発揮し旧帝大を巡り賛同を集め1962年に北大から始まりました。学生主体の大会として、40数競技・8000人超が参加する日本最大級の大会になっています。10周目に入る来年は北大開催です。来年が楽しみです。
植松 高志 (S48)

暑い夏、札幌在住の同級生から庭の畑でゴーヤが豊作というメールが届きました。昨年は、昔は難しかったサツマイモも採れたとのこと。札幌の初めての冬に感激したパウダースノーが見られなくなりそうだとの新聞記事もありました。受験前に地図帳で北海道が亜寒帯と知って驚いたのが昔々のお話になりそうです。
田島 朋子 (S54)

ラグビー部がとし創部100周年を迎えました。6月1・2両日にあった記念事業には存命のOB約600人のうち4割にあたる238人が参加。記念講演をしたスポーツライターの藤島大さんはラグビーマガジン8月号の巻頭コラムに、「北の地に根を絶やさず」と題して「楽しい2日間は、歴史あるひとつの大学の誇り高き運動部のものであって、なお、この国のラグビーの根っここの大切さを示している」と書いています。1976年入部のOBの一人として心に沁みる言葉になりました。
野呂 雅之 (S56)

農学部生物機能化学科(旧農芸化学科)の会報「舎密」は毎年3年生が担当。今年度の「舎密59号」の制作に際しての案内より:「テーマは『道しるべ』です。技術革新や価値観の変化、多様性の重視など、変革の時代を私たちが先導できるように、私たちの日々の学びは世のため人のために役立てるべき。新渡戸稲造の『我、太平洋の橋とならん』を範に、周囲を『導く』人になればという思いを込めたテーマです」。若き頼もしい後輩たちにエールを送りましょう。
波多 勇 (S43)

昨年から若手北大卒業生を対象に交流会を開催しています。近藤さんの記事のように、会場では参加者の北大愛が爆発!です。今後も継続して交流会を開催しますので、皆さま奮ってご参加ください。
福井 毅 (S55)

道新の福田さんの寄稿を興味深く読ませていただきました。陸上競技の山西選手(京大)や鈴木亜由子選手(名大)、漕艇の荒川選手(一橋大)など「文武両道」オリンピックの活躍を特別な思いで応援していましたが、北大出身の選手も各分野で活躍していることを教えていただき、溜飲が下がりました。また、過去には、オリンピックのメダリストでノーベル賞を受けた英国の偉人がいると知りました。世界は広い。
前川 以知郎 (S50)

歴史を刻むことの意味を「Be ambitious」編集委員に参加するようになって考える事が増えたような気がします。単に読むのと編集に参加するのでは、単に時間を経るのと刻むのでは違うと、時折感じさせられます。
山田 勝重 (S53)

今号はより読み易くを目標に「文字を大きくしました」が如何でしょうか?加えて、新たに沢山の方々より寄稿いただくことができました。ありがとうございました。また、せまりくる母校創基150年、『あなたにとっての母校北大の思い』を是非綴っていただけないでしょうか。お待ちしております。
下岡 健藏 (S45)

会員獲得のご協力のお願い

会員増強委員長 福井 毅 (S55 理)

E-mail: elmkansai@yahoo.co.jp

本同窓会の更なる発展のため、新たな会員獲得を進めています。皆様のお近くに当会に未入会の同窓生がおられましたら、どうぞ本会への入会をお勧めください。また、当会からご本人に加入の案内を致しますので、未加入卒業生がおられましたらお知らせください。
北大関西同窓会 E-mail: elmkansai@yahoo.co.jp

Be ambitious 投稿のお願い

当会報は年2回発行され、会員のみに配布される機関誌です。恒例の記事に加え、皆様からの自由な投稿をいただき、より楽しい紙面と致したく存じます。お一人様2~3頁(2,000字~3,000字)の寄稿をいただければと存じます。

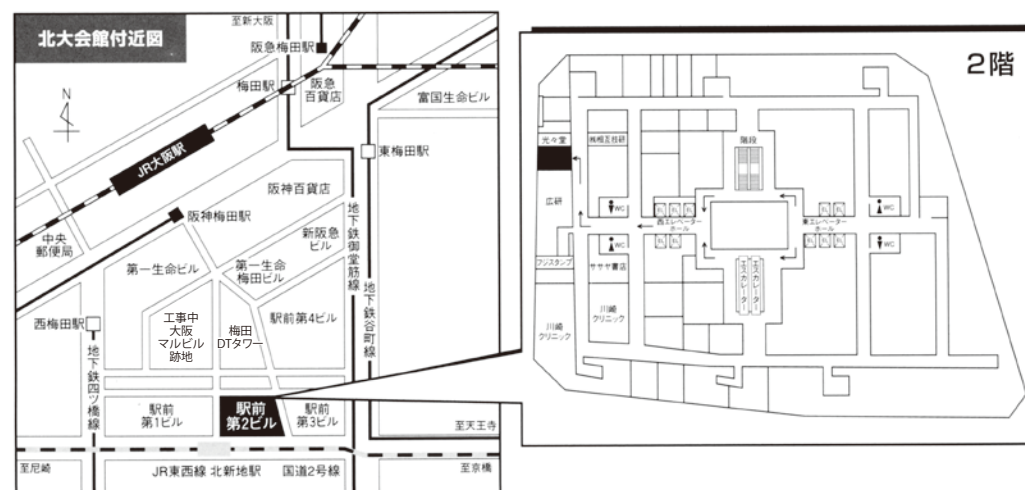
1. 内容: 北海道大学・北大同窓会及び同窓生に関する事
2. 字数: 約1,000字(1頁当り)
3. 写真・図: 2枚(1頁当り)
4. 締め切り: 毎年6月末、12月末
5. 宛先 ○北海道大学関西同窓会 編集委員会 E-mail: elmkansai@yahoo.co.jp
○編集長 下岡 健藏 (S45 工応物) E-mail: kenzo.shimooka@gmail.com

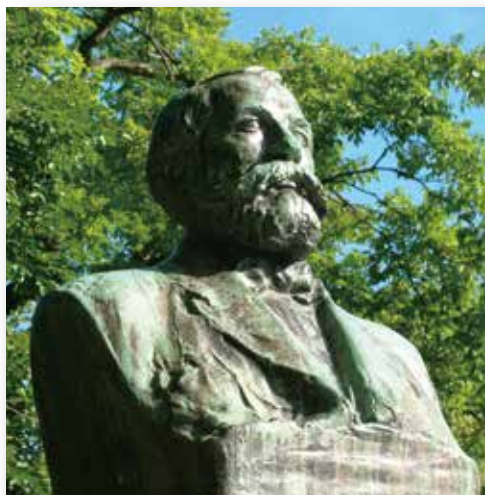
印刷所との間では原稿をE-mailでやり取りしますので、<word>原稿をお願い致します。

北海道大学関西同窓会・北大会館所在

場所: 大阪駅前第2ビル(阪神百貨店の西側を南へ徒歩2分。梅田DTタワーの南)2階北西の隅(下記地図参照)

交通の便: JR: 大阪駅から地下道を南へ5分 地下鉄: 梅田駅から南西へ約8分
: 東西線北新地駅の真上 : 東梅田駅から西南へ約5分
阪神: 梅田駅西口から地下道を南へ2分 : 西梅田駅から東へ約3分
阪急: 梅田駅から南西へ約10分





北海道大学関西同窓会会報 第91号

- 発行日 2024年(令和六年)9月20日
 - 編集者 下岡健藏
 - 発行者 北海道大学関西同窓会会長
植松高志
 - 印刷所 株式会社 すばる
〒557-0014 大阪市西成区天下茶屋1-20-10
 - 発行所 北海道大学関西同窓会
〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目2番2-200号
大阪駅前第2ビル2階 北大会館内
Tel・Fax : 06-6343-3736
E-mail : elmkansai@yahoo.co.jp
URL : <http://hokudai-kansai.org>
-